

平成26年度（第2回）「市民と議会との対話集会」報告書

平成 26 年 9 月 1 日

別府市議会では、平成26年度（第2回）「市民と議会との対話集会」を開催いたしました。

4日間をかけて8会場で実施し、254名の参加をえることができ多くのご意見をいただきましたのでご報告いたします。

(会場別参加者数)

月 日	班	場 所	参加人員
5月12日(月)	1班	堀田公民館	15人
	2班	古市公民館	27人
5月13日(火)	3班	中須賀公民館	52人
	4班	野口ふれあい交流センター	15人
5月14日(水)	1班	小坂公民館	32人
	2班	扇山公民館	19人
5月15日(木)	3班	ふれあい広場・サザンクロス	75人
	4班	風呂本・御幸公民館	19人

(各班の議員名簿)

議 長 吉 富 英三郎

班	班 長	副班長	班 員	
1	江 藤 勝 彦	野 上 泰 生	堀 本 博 行	松 川 章 三
			黒 木 愛 一 郎	森 山 義 治
2	河 野 数 則	三 重 忠 昭	山 本 一 成	平 野 文 活
			国 実 久 夫	穴 井 宏 二
3	泉 武 弘	手 東 貴 裕	永 井 正	松 川 峰 生
			市 原 隆 生	加 藤 信 康
4	首 藤 正	森 大 輔	三ヶ尻 正 友	野 口 哲 男
			猿 渡 久 子	荒 金 卓 雄

別府市議会

目次

1】議長あいさつ（お礼）	P 1
2】質疑内容	P 2 ~ P 61
1 . 議会関係	P 2 ~ P 4
1) 議会審議関連	P 2
2) 議会改革関連	P 3 ~ P 4
2 . 生活環境関係	P 5 ~ P 27
1) 市民生活関連	P 5 ~ P 11
2) 自治組織関連	P 12 ~ P 13
3) 道路整備関連	P 14 ~ P 16
4) 公共施設関連	P 17 ~ P 19
5) 交通対策関連	P 20
6) 水道事業関連	P 21 ~ P 22
7) 都市整備関連	P 23 ~ P 27
3 . 福祉関係	P 28 ~ P 29
1) 社会福祉関連	P 28 ~ P 29
4 . 産業振興関係	P 30 ~ P 36
1) 中心市街地活性化関連	P 30
2) 企業誘致関連	P 31
3) 観光対策関連	P 32 ~ P 36
5 . 文化教育関係	P 37 ~ P 42
1) 文化振興関連	P 37 ~ P 38
2) 教育関連	P 39 ~ P 42
6 . 災害・防災関係	P 43 ~ P 52
1) 災害・防災関連	P 43 ~ P 52

7. その他

P 53 ~ P 61

- 1) 市政等関連 P 53 ~ P 56
- 2) 財政関連 P 57 ~ P 60
- 3) その他 P 61

3】アンケート集計結果

P 62 ~ P 66

- 1) アンケート回答結果 P 62
- 2) 年齢構成について P 62
- 3) 性別構成について P 62
- 4) 開催の情報取得方法について P 62
- 5) 説明内容について P 63
- 6) 今回の対話集会について P 63
- 7) 今後の対話集会について P 63
- 8) 自由意見 P 64 ~ P 66

平成26年度（第2回）「市民と議会との対話集会」について（お礼）

平素より、本市議会の活動にご指導とご協力をいただき、心より感謝を申し上げます。

この度、議会改革の取り組みとして、5月12日から5月15日の4日間、8会場において「市民と議会との対話集会」を開催したところ、市民の皆様にはご多忙にもかかわらず、参加をいただき、誠にありがとうございました。

今回の対話集会は、地域での身近な課題や問題に対して意見交換を行うことを目的といたしましたところ、前年を上回る参加者となりました。

皆様方からは、防災・災害に対する危機意識、超高齢化社会における不安、議会としてのあり方等、数々の貴重なご意見・ご提言・ご要望をいただきました。

今後は、議会としてのさらなる機能を高め、将来に向けての発展ある議論に繋げてまいりたいと考えています。

また、今回の対話集会における反省点は、次回への教訓として取り組んでまいりますので、今後とも皆様のご指導・ご協力をお願い申し上げ、お礼の挨拶といたします。

別 府 市 議 会

議 長 吉 富 英三郎

1. 議会関係

1) 議会審議関連

(具体的な意見や質問) 【古市公民館】

議会を傍聴していると行政（執行部）の答弁が「言っぱなし、聞きっぱなし」のように感じられる。

議員は、市民が納得するまで問題を追及してほしい。

(具体的な意見や質問) 【野口ふれあい交流センター】

別府中央小学校に伴う統廃合（旧野口小学校と北小学校の統合）の議決を投票にて行った。

議員個人の賛否が市民に分かる採決を行うべきだ。

(具体的な意見や質問) 【風呂本・御幸公民館】

平成26年3月議会において、行政（執行部）の答弁が明確ではなかった。

議員は、具体的な答弁をもっと求めるべきだ。

(議会としての考え方または回答)

具体的には、「ゆめタウン」に対する質疑だと思います。

議会としても、議場で追求するだけでなく、本社に赴き計画の実行を求めたり、代替策を模索していますが、景気の状態もあり、実現までは難しいものと考えています。

2) 議会改革関連

(具体的な意見や質問) 【堀田公民館】

「べっぷ市議会だより」は、字が多すぎる等で読みづらい。

中学生でも分かるような読みやすい編集を行ってほしい。

また、一般質問より議案質疑の内容を充実してほしい。(平成26年3月議会における予算審議の内容が少ない。)

議論の内容が、しっかり載るような「べっぷ市議会だより」にしてほしい。

(具体的な意見や質問)

現在、「べっぷ市議会だより」は、一般質問を中心に編集していますが、より分かりやすい内容となるように、広報広聴委員会にて、検討してまいります。

(具体的な意見や質問) 【堀田公民館】

議員定数が25名では、少ないのではないか。

(議会としての考え方または回答)

議員定数は、多い、少ないで長所と短所がそれぞれありますが、大半の市民の皆様は定数の削減を望んでいるものと考えています。

改選期毎に、自治会連合会からの要望もあり、3年前の統一地方選挙から実施いたしました。

議会改革の柱として位置づけ、12万前後の類似団体の議員定数と比較して、平均を下回る定数(25名)といたしました。

(具体的な意見や質問) 【野口ふれあい交流センター】

議員定数を決める根拠はどうなっているのか。

これから先も、定数を削減するのか。

(議会としての考え方または回答)

根拠の規定はありません。

過去は、地方自治法にその基準が定められていましたが、権限移譲により、地方自治体で決定することとなりました。

定数については、人口の類似団体を比較して、議会で決定しております。

これから先も、自治体への民意反映等や他市の状況を考慮し、継続して議論する必要があると考えています。

(具体的な意見や質問)

議員定数は、民意の反映を考えるとデリケートな問題と考える。

議員定数より、議員報酬の額を議論すべきと考える。

（具体的な意見や質問） 【野口ふれあい交流センター】

議会の行政（執行部）に対する監視機能の充実及び政策形成能力の向上が求められていると思う。

人口の減少、町村合併による自治体の減少により、自治体の職員数も減っている中で、議員定数が減ることは、当たり前と考える。

重要な問題は、議員定数よりも、議員が真剣になって、市民のための政策を予算に反映させることこそが重要である。

少数精鋭になっても、「ピカリ」と光る別府市議会であってほしい。

（具体的な意見や質問） 【小坂公民館】

議会は、緊張感と危機感（自治体運営に対して）を持って、議員の職務を果たしてほしい。

（具体的な意見や質問） 【小坂公民館】

「市民と議会との対話集会」は、地域の問題点を事前に、行政（執行部）とすり合わせのうえ実施すべきと考える。

（議会としての考え方または回答）

貴重なご意見として、承ります。

（具体的な意見や質問） 【ふれあい広場・サザンクロス】

議会と行政（執行部）が合同で「市民との対話集会」を行ってはどうか。

（議会としての考え方または回答）

「対話集会」の目的は、市民の皆様との対話ですので、積極的なご意見をお聞かせください。

（具体的な意見や質問） 【ふれあい広場・サザンクロス】

前回（平成25年度）の「市民と議会との対話集会」は「議会の仕組み」等の説明が長かったが、今回（平成26年度）は、質疑が中心で良かった。

（具体的な意見や質問） 【ふれあい広場・サザンクロス】

「市民と議会との対話集会」における質疑に対する結果を明確に知らせてほしい。
（一議員の回答ではなく、議会としての回答として）

（議会としての考え方または回答）

「市民と議会との対話集会」におけるご意見や質問に対しては、出席している議員全員の責任のもとで、回答を行っているものとご理解していただきたい。

（具体的な意見や質問） 【風呂本・御幸公民館】

議員報酬の額はどのくらいか。

議員の定数を減らさずに、報酬額を引き下げるべきではないか。

（議会としての考え方または回答）

年収約800万円で、議員定数25名です。

議員報酬の総額は、議会費全体の0.9%です。

現在、1議員は有権者4,000人の代弁者です。1議員あたりの有権者数が以前より増えてきています。

2. 生活環境関係

1) 市民生活関連

(具体的な意見や質問) 【堀田公民館】

堀田温泉の天井改修工事で、湯気を抜く工事が予定されているが、地元に対する説明がない。

工事期間中は、入浴できない人も出るので、男女片方毎に入浴出来る等の工夫をして貰いたい。

(議会として考え方や回答)

行政(執行部)にお伝えします。

(別府市の回答及び対応状況) <ONSENツーリズム部>

堀田温泉の天井については、天井にある湯気抜きの高窓の改修工事が必要となり、今年の11月から改修工事を予定しています。

休館期間等についても、施設に張り紙を設置する等、改めて周知いたします。

男女の浴室別の工事については、工期が長くなってしまふことやコスト面を含め、課題を解決する必要がありますが、なるべく利用者の皆さまにご不便をおかけすることのないよう検討していきたいと考えています。

(具体的な意見や質問) 【堀田公民館】

買い物難民の対策はどうなっているのか。

(議会として考え方や回答)

オンデマンドタクシーや路線バス等の充実を図りたいと考えています。

(別府市の回答及び対応状況) <福祉保健部>

オンデマンドタクシー等の移動支援策については、第6期介護保険事業計画に係る「日常生活圏域ニーズ調査」等を分析するとともに、先進地における事業実態等も調査研究しながら、検討していきたいと考えています。

（具体的な意見や質問） 【堀田公民館】

単独浄化槽の毎月の点検をしていない家庭が多い。

保健所の指導がルーズだ。

海が汚れているのは、汚水が流れ出している為であり、浄化槽の管理ができていないことが原因と考える。

（議会として考え方は回答）

別府市においては、単独浄化槽が多いのが現状です。

他市においては、公共下水道を整備する予算を浄化槽の整備にシフトする自治体も増えてきていると認識しています。

また、この件については、行政（執行部）を通じて、県（保健所）にお伝えします。

（別府市の回答及び対応状況） <生活環境部>

浄化槽は、使用方法を誤ったり、適切な維持管理が行われない場合には、河川や海などの水質汚濁や悪臭の原因となります。

きれいな河川や海を将来にわたって守っていくため、県や関係機関と連携をして、浄化槽の正しい使用と適切な維持管理が行われるよう努めてまいります。

（具体的な意見や質問） 【古市公民館】

古市地区は、海拔が低いため、満潮時等に川の流れが悪い。

水が留まり衛生的にも良くない。

川に生えている「葦（よし）」が原因と思われる。

（議会として考え方は回答）

行政（執行部）に、調査するようお伝えします。

（別府市の回答及び対応状況） <建設部>

古市地区の温水川に葦が茂っているという連絡を受けて、今年度もJRの西側の温水川の底の葦を撤去しました。

今後も連絡をいただければ調査し、環境課等とも相談し、撤去等の対応をいたします。

（具体的な意見や質問） 【古市公民館】

日豊線の裏の水路が機能していない。

過去に、行政（執行部）に相談したが、JRの関係上で、整備が難しいと聞いている。地元で管理できる部分は、維持管理を行っているが、それ以上は難しいのが実状だ。行政（執行部）の力を借りて整備ができないか。

（議会として考え方や回答）

行政（執行部）に、調査するようお伝えします。

（別府市の回答及び対応状況）<建設部>

今年度も地元住民の方からJRのJR沿いの排水が機能していないという連絡を受けました。

調査いたしましたら、排水路がJRを横断して温水川に注がれており、JRを横断した下流に土砂の堆積がありました。土砂の撤去を行いました。もともと排水勾配がなく、維持管理が必要な箇所でもあります。JRの敷地内に排水路があり、高低差がない為、構造的に改修は容易ではありませんが、今後定期的に土砂等撤去を行ってまいります。

（具体的な意見や質問） 【小坂公民館】

小坂地区の神社（お宮）の下から分かれている側溝の水が、大雨の時に道路に溢れる。市に改善を要望したが、予算がないとの理由により断られた。事務の引継ぎが正確に行われているのか。

下舞地区、三名地区においては、水路に土砂や枯葉が詰まり、水が溢れている。大雨の時等は、側溝から5m以上の水が吹き上がっている。水路の安全性等を再度チェックしてほしい。

（議会として考え方や回答）

行政（執行部）は、災害等を考慮して、優先順位により整備を行っています。

「対話集会」を通じて、議会として緊急性があると判断したものは、行政（執行部）との調査等を通じて、対応したいと考えています。

（別府市の回答及び対応状況）<建設部>

近年のゲリラ豪雨や大雨の時に、側溝の排水能力を越えて雨水が流れる場合や、ごみ等の詰まりによって、道路に水が溢れると考えられます。

市民の方々から通報があれば、現地調査を行い、原因を調べ対応しています。

改修等の工事が必要であれば、順次改修工事を行う予定であります。

当該箇所においては落葉が詰まっており、すでに撤去しています。

詰まりが発生した場合は連絡をいただければ対応いたします。

（具体的な意見や質問） 【古市公民館】

別府市において、「ワンコイン・バス」制度の導入は、できないのか。
大分市は、できているのに何故できないのか。

（議会として考え方は回答）

「ゆめタウン」誘致の時に、「ワンコイン・バス」の話もありましたが、現在は棚上げの状態です。

一度 様々な角度から問題を整理しまして、必要とあれば、議会としても行政（執行部）に要望したいと考えています。

また、大分市ができて、別府市ができない話ではないと認識しています。

しかし、様々な地域の実状を考慮して実施する必要があり、一地域のみではなく、市全体の地域を考慮して検討する必要があると認識しています。

（別府市の回答及び対応状況）<福祉保健部>

ワンコインバスの運行については、他の公共交通機関との調整が必要なため、地域公共交通会議の設置が望ましいとされており、別府市においてはこの会議の設置について、今検討がなされているところです。

高齢者福祉課において、ワンコインバスの実施に係る協議は行われてきましたが、コンパクトな町であり市街地における市内路線バス網が比較的充実しているものだと考えております。

したがって、②で回答のとおり日常生活圏域ニーズ調査等を分析する中で他の移動支援策を検討していきたいと考えています。

（具体的な意見や質問） 【中須賀公民館】

市有区営温泉の経営状況が苦しい。
行政の援助がないのか。

（議会として考え方は回答）

市営温泉の場合は、現在 利用料の改定等も行われておらず、適正な利用料の議論は、行われておりません。

公共施設の受益者負担を原点から見直す必要があると考えています。

（無料券の見直し・市外利用者の利用料見直し等）

（別府市の回答及び対応状況）<ONSENツーリズム部>

使用料の見直しに関しては、他の使用料とともに市全体として、応分の受益者負担について検討したいと考えています。

(具体的な意見や質問) 【野口ふれあい交流センター】

市有区営温泉の入浴者数が減少し、運営が難しくなっている。
今後の市の方針等をお伺いしたい。

行政（執行部）まかせではなく、議会として統一した見解を出してほしい。
お産をするようになって、医者を呼ぶような議論ではなく、議会としての勤めを果たしてもらいたい。
将来のビジョンを明確にしてもらいたい。

行政（執行部）の立場（財産権を含めて）をはっきりさせるべきだ。
改修費用に対する貸付制度等を償還期間を含めて調査すべきだ。
他都市に有効的な事例があるはずなので、今一度検討すべきだ。

市有区営温泉の成り立ちは、地域の人が入る温泉を建設するにあたり、固定資産税を免除する為に、市に寄付したことが起こりだ。

その後、自宅に風呂場ができ、入浴形態が変わるとともに、利用者も少なくなって、現在に至っている。

行財政改革の中で、議論しなければ解決できないのではないか。
きれいごとを前提としての議論は、結論がでないと考える。
様々な運営形態がある中で、意見をまとめることは不可能と思う。

(議会として考え方または回答)

議会としても、一般質問等を通じて、この問題は何度も取り上げています。
行政（執行部）の答弁といたしましては、一律の援助（補助）は困難であり、個別の状況に応じた支援を行っていくとのことでした。
しかし、地区の温泉文化を守っていくことは、必要なことだと考えていますので、今後とも具体策を議論していくべきと認識しております。

(別府市の回答及び対応状況) <ONSENツーリズム部>

現在、各区営温泉に財政状況等に関するアンケート調査を行っておりますので、回答が揃い次第、各施設の状況を把握した上で、検討を進めていきたいと考えています。

（具体的な意見や質問） 【小坂公民館】

「PM2.5」に対しての警報や対策を別府市は考えているのか。
大分市や日田市は、実施していると聞く。
市民の生命に係ることなので、早急に対応すべきだ。

（議会として考え方や回答）

貴重なご意見として行政（執行部）にお伝えいたします。

（別府市の回答及び対応状況）<生活環境部>

大分県の実施要領によりPM2.5の濃度が基準を超えたときには、大分県から注意喚起が発令されます。別府市では、この発令に基づき、消防、小中学校、保育所、屋外施設等へ緊急連絡網による連絡と、市内各所へ広報車による広報、ホームページで大気汚染注意報の情報をお知らせする体制をとっています。

注意喚起については市報などでお知らせしておりますが、より一層周知に努めてまいります。

（具体的な意見や質問） 【小坂公民館】

海岸線の公園は、観光都市の名に恥じないすばらしいものが整備されているが、トイレが汚い。

清掃等が行き届いておらず、観光客等に不快感を与えるのではないかと。

（議会として考え方や回答）

公園のトイレについては、様々な苦情が寄せられています。

今回のご意見は、行政（執行部）にお伝えいたします。

（別府市の回答及び対応状況）<建設部>

市内の海岸線（国道10号線東側）には、市が管理する公園が5公園あり、トイレの数は合計7棟あります。各トイレの清掃につきましては、利用頻度等に応じて、週4回から週7回行っております。市民の皆様や観光客の方に快適にご使用いただけるよう、十分な清掃の指導・確認をおこなってまいりたいと思います。

また、餅ヶ浜海岸や観光港には、県の管理するトイレも整備されておりますので、管者へご意見の内容を伝え、十分な管理をお願いしたいと思います。

(具体的な意見や質問) 【ふれあい広場・サザンクロス】

町内に盗難自転車が放置されている。
市に報告しているが、何の返答もなく、動きが悪い。
市と合同で現地調査を行って、対応をしてほしい。
また、対応する市の窓口を環境課に、一本化すべきではないか。

(議会として考え方は回答)

ご要望として承ります。

(別府市の回答及び対応状況) <生活環境部>

放置自転車は、放置された場所の所有になるとの前提から、市道であれば道路河川課に、公園内であれば公園緑地課に、国道・県道であれば県土木事務所に、民有地の場合はその土地の所有者の方にご連絡していただくこととなりますが、放置場所が不明瞭で判断しにくい場合は環境課にご連絡していただければ対応させていただきます。

(具体的な意見や質問) 【風呂本・御幸公民館】

町内の噴霧消毒は、高齢化により実施が難しい。
また、自治会の予算は少なく、業者に委託することも困難である。

(議会として考え方は回答)

平成26年度から、市が委託により実施する噴霧消毒業務は、廃止となりました。
その代替事業として、薬剤の無料配布を行っています。

(別府市の回答及び対応状況) <生活環境部>

消毒の効果、財政的な理由、消毒の煙に対する市民の皆様のご意見等を総合的に判断し、市が業務委託しておりました噴霧消毒は廃止することとなりました。
その代わりとして、今年度より、臭いや色がほとんどなく、哺乳類動物や魚類に対する毒性がきわめて低い発泡錠剤を配布しております。
また、加えて自主作業を行いたい自治会への二兼機の貸し出しにつきましては、従来どおり行っており、二兼機に使用する薬剤も無料で配布させていただいております。

2) 自治組織関連

(具体的な意見や質問) 【古市公民館】

現在、市の人口に、外国人が加わった数値が公表されている。

その外国人の大半は、学生であり、実際は高齢者率が高いにも係らず低く公表されているように感じる。

実際の定住人口による数値を公表してもらいたい。

(議会として考え方または回答)

実際に自治会に加入できる数値を把握する必要があると考えています。

そのうえで、実際の人口と自治会等に加入できる定住者人口等の区分けは必要と考えていますので、行政(執行部)にその旨を伝えてまいります。

(別府市の回答及び対応状況) <生活環境部>

平成24年7月の法改正により、外国人も日本人と同じように住民票が作成され、現在、町別5歳区分人口集計表(外国人含む)にて、町内別の人口数(5歳区分)は公開しております。また、外国人の人口については、総数を公表していますので、現在、公開しているものでご理解をいただきたいと考えております。

(具体的な意見や質問) 【扇山公民館】

扇山公民館を建設した時に、1世帯あたり数万円を拠出して建設した。

その後、施設を市に寄付したが、火災保険や修繕費等を自治会で負担していることは、おかしいのではないかと。

(議会として考え方または回答)

地元の公民館は、地元の所有であると認識しています。

調査のうえ、後日お答えいたします。

(別府市の回答及び対応状況) <教育委員会>

町内公民館(自治公民館)については、その所有の形態は様々です。市への寄付については、町内公民館の固定資産税を免除することを目的とするものであることから、公民館の維持管理及び運営について市は関与せず、自治会の責任において行っていただいております。

（具体的な意見や質問） 【ふれあい広場・サザンクロス】

「温泉まつり」に自治会として、参加しているが、「ねぎらい」を目的とした飲食の予算（補助）が廃止となった。

参加者に対して、気の毒に感じている。

平成24年から廃止しているが、どのような経過で廃止となったのか。

参加者の意欲が低下する。

（議会として考え方は回答）

議会として、「温泉まつり」に係る「ねぎらい」の飲食については、聞いたこともなく、議論された経緯也没有ありません。

「温泉まつり」に対しては、市が公金を支出しています。

皆様の税金が投入されていますので、説明義務はあると考えられます。

事実関係を調査いたしまして、ご報告いたします。

（別府市の回答及び対応状況）＜ONSENツーリズム部＞

「別府八湯温泉まつり」につきましては、事務局である（一般社団法人）別府市観光協会に確認したところ、「ねぎらい」などを目的に飲食代が支払われたことはありませんでした。

別府市からは、「別府八湯温泉まつり」の関係経費の補助金を交付いたしますが、今後とも公金の適正な支出に努めたいと思います。

（具体的な意見や質問） 【ふれあい広場・サザンクロス】

全市一斉清掃等の市の行事に職員が参加していない。

町内の行事についても同じだ。

（議会として考え方は回答）

職員全員が、参加していない訳ではありません。

休日も返上して、仕事をしている職員もいますので、全員がそうでないことをご理解していただきたい。

しかし、貴重なご意見として、行政（執行部）にお伝えいたします。

市民あつての、議会や行政と考えていますので、原点に帰って自治会活動について、考える必要があると認識しています。

（別府市の回答及び対応状況）＜総務部＞

職員の地元行事への参加につきましては、住民として積極的に参加するよう呼び掛けを行っているところでありますが、一部の職員が参加していない状況もあることから、今後も引き続き周知に努めてまいります。

（別府市の回答及び対応状況）＜企画部＞

自治会は、市政を円滑に運営するためにも不可欠な組織です。特に非常災害時においては、その存在が重要になってまいります。

現在、全職員を対象に自治会加入の有無を含め、自治会とどのように関わっているのか、その実態を把握すべくアンケートを実施しておりますので、職員の自治会活動促進に結び付けていきたいと考えています。

3) 道路整備関連

(具体的な意見や質問) 【堀田公民館】

側溝の中が詰まる。

市(道路河川課)に、伝えるが、対応が遅い。

(議会として考え方や回答)

側溝が詰まったときは、自治会長さんを通じて、行政(執行部)に伝えてください。

(別府市の回答及び対応状況) <建設部>

市道及び市の管理する側溝については、市民の方からの通報があれば、現地調査を行い、堆積物の清掃をしていきます。

(具体的な意見や質問) 【中須賀公民館】

国道500号線(九州横断道路)の電柱を埋設する計画があると聞いている。

観光都市として、周りの景観にも良いことなので、早く事業を推進してほしい。

(議会として考え方や回答)

議会としても、賛成される議題であると認識しています。

(別府市の回答及び対応状況) <建設部>

国道500号の整備につきましては、景観、防災、交通安全等の向上を図るため、歩道整備と無電柱化を事業主体の大分県と別府市で検討をはじめたところです。

現在、学識経験者、沿線の自治委員やまちづくり団体等の代表者、行政関係者による協議会を設置し、今年度道路整備案や沿道のまちづくりについてご意見をいただきながら、検討している状況です。

(具体的な意見や質問) 【野口ふれあい交流センター】

道路の状態が良くない。

補修して、舗装しても埋設工事等の為に、掘り起こし、部分補修する為、道路がガタガタで、段差ができる。

計画性をもって、一度にできないのか。

(議会として考え方は回答)

議会でも、取り上げられています。

今年度、公共事業予算が大幅についています。

道路の補修については、優先順位を付けて、計画的に実施していますので、今年度については、かなりの工事等が可能と認識しています。

また、この問題については、議会でも度々取り上げたいと考えています。

議会において、工事後のチェック（検査）等が、不十分ではないかとの議論もありましたので、注意していきたいと思います。

今年度（平成26年度）より、「ともに生きる条例」が制定されました。

この条例の中でも、道路の整備に取り組むことが明記されていますので、今後に期待していただきたいと思います。

(別府市の回答及び対応状況) <建設部>

道路の再掘りおこし防止の為に、毎年2回、定期的に道路占用者会議を行い、工事時期等を調整し、再掘りおこし防止を努めております。

また、道路占用者には道幅の狭い道路の工事については、全面舗装をお願いしているところです。また、工事後の現地を確認して、完了検査の充実を図っていきたいと思います。

(具体的な意見や質問) 【小坂公民館】

山田・関の江線の整備は、どうなっているのか。

(議会として考え方は回答)

行政（執行部）に確認のうえ、ご報告いたします。

(別府市の回答及び対応状況) <建設部>

都市計画道路山田関の江線は、朝見一丁目と関の江町をつなぐ国道10号を補完する幹線道路として都市計画決定されており、全長8690mのうち3163mが完成し、整備率36%となっています。現在、西野口町の区間について、大分県が整備を行っており、亀川駅西側の区間について、今年度から別府市で整備を行う予定となっています。その他の区間につきましては、大分県と協議しながら、早期に整備できるよう取り組んでいきたいと考えています。

(具体的な意見や質問) 【扇山公民館】

以前、用地を無償提供して道路舗装をしたが、お粗末だった。

(議会として考え方は回答)

市道が十分整備されていないことは、議会としても認識しています。

ご意見は、行政（執行部）にお伝えいたします。

(別府市の回答及び対応状況) <建設部>

ご質問の場所は昭和49年完了の宅地造成による道路で、その後市へ帰属されており、団地内道路は地下埋設管の占有者による部分補修跡であります。

今後は占有者の復旧について完了検査時に厳しく指導してまいります。

(具体的な意見や質問) 【ふれあい広場・サザンクロス】

町内で、最近 道路の舗装工事を見ない。「でこぼこ」で、高齢者の歩行も危ない。

(議会として考え方は回答)

道路整備に要する経費は、大分県下の中で、別府市は最低と認識しています。

(別府市の回答及び対応状況) <建設部>

舗装の補修については、危険な箇所や、事故等の発生が懸念される箇所から、優先順位をつけ計画的に改修していきたいと考えています。

(具体的な意見や質問) 【ふれあい広場・サザンクロス】

旧南小学校跡地の体育館前の道路舗装が悪い。

水はけが悪く、バイクがすべる・土が溜まる。

早く改善をしてほしい。

(別府市の回答及び対応状況) <建設部>

現地を詳細に調査し、改善すべき場所については早急に対応したいと思います。

4) 公共施設関連

(具体的な意見や質問) 【中須賀公民館】

別府市における公共施設の耐震化はどうなっているのか。
海岸線沿いの施設等は、非常に危険と考える。
赤字経営の施設も含めて、今後の公共施設のあり方を検討すべきだ。
赤字の施設は、見直す時期に来ていると思う。

(議会として考え方や回答)

市内の小学校・中学校の耐震工事は、今年度（平成26年度）をもって完了いたします。
その他の施設については、計画はされていますが、実際の進め方は決定していません。

市営温泉の収支は、大幅な赤字です。

赤字の施設等については、市の総合的な施設管理のあり方を踏まえて、議会で議論したいと考えています。

(別府市の回答及び対応状況) < 総務部 >

現在、公共施設マネジメント計画等の策定に取り組んでいますが、今後の財政状況を考慮すると、現在保有している公共施設をこのまま維持していくことは大変厳しい状況にあります。本市が保有する公共施設の多くは昭和40年代、50年代の高度経済成長期に建設されたものであり、少子高齢化の進展により市民の年齢構成が施設建設時と大きく変化しており、ライフスタイルの変化とともに既存の公共施設を見直していくことが必要になっています。

現状の変化を踏まえ、既存の施設の分析、評価に基づき、建物の現状、施設利用度、維持管理コスト等を総合的に勘案し、将来的に必要性の高い公共施設を選定して、施設ごとに耐震化を含めた修繕計画を策定したうえで施設の修繕を進め、効率的かつ効果的な行政サービスを提供していくことが必要であると考えています。

（具体的な意見や質問） 【中須賀公民館】

藤ヶ谷清掃センターの工事費や維持管理費は、非常に高いと聞いている。

また、維持管理の委託は、入札金額が高い企業が落札したと聞いている。

どういった経緯で、業者が選定されたのか。

別府市は、分別等のゴミ減量化に積極的に取り組んでいるにもかかわらず、ゴミが増える計画で、契約されている理由を教えてください。

市民が理解できるように、議会でも説明してほしい。

今後、多額の公金が投入される施設の経費については、なおさらのことと思う。

（議会として考え方は回答）

入札に関しては、金額だけではありません。

管理方法であったり、環境に対する取り組み等の総合評価により決定しました。

委託金額等が、安い・低いだけの判断ではありません。

（別府市の回答及び対応状況） <企画部>

業者の選定については、委員10名で構成された「藤ヶ谷清掃センター更新に係る事業者選定等アドバイザリー業者選定委員会」を設置して選定しました。

選定委員には、外部有識者4名（公認会計士、一級建築士、大学教授、専門家）と2市1町の副市長、副町長及び広域圏幹事会幹事の6名で選定作業を行いました。

落札した日立造船㈱は、特に環境対策にかかる項目において組合の要求水準を上回る保証値を提案してきました。それが選定委員会において高く評価されました。

15年間の委託契約において、直近のごみ量実績と入札時におけるごみ量推計値を比較すると実績量が約7%減少している。しかし、ごみ量が減少すれば焼却によって生じる焼却灰の量も減少するので、焼却灰リサイクルであるセメント化処理費用が安くなり、総コストは下がると聞いております。

（具体的な意見や質問） 【野口ふれあい交流センター】

野口ふれあい交流センターのグラウンドの砂が雨で流出した為、砂を入れることを行政に要望したが、予算が無いとの理由で、実施ができなかった。

光熱水費等の経常的な経費は除いて、弾力をもった予算を確保してほしい。

今年度（平成26年度）、野口ふれあいセンター前の道路補修が行われる計画があるのですか。できるだけ早く実施してほしい。

（議会として考え方はまたは回答）

予算については、ご要望があったことを行政（執行部）にお伝えいたします。

今年度（平成26年度）の補修工事は、行われないと認識しています。

部分的な補修工事は、実施されると思いますが、一斉補修の時期等は、行政（執行部）から聞いておりません。

（別府市の回答及び対応状況） <教育委員会>

平成26年4月に真砂土を野口ふれあい交流センターのグラウンドに入れました。今後とも、緊急に砂を入れなければならないことが生じた場合は、その都度、対応していきたいと考えています。

（別府市の回答及び対応状況） <建設部>

野口ふれあい交流センター前の道路は、かまぼこ状で歩行者の方等が歩きづらく、支障をきたしている状況の為、改修工事の必要性は認識しており、できるだけ早く実施したいと考えています。

（具体的な意見や質問） 【扇山公民館】

藤ヶ谷清掃センターの管理運営委託の問題で、暴力団や市議会議員がかかわっていると聞くが、説明してほしい。

（議会として考え方はまたは回答）

入札の問題として、12億円高い業者が落札した経緯があります。

広域圏議会においても、それぞれの議員の考えのもと賛成・反対がありましたが、賛成者多数により可決しました。

「対話集会」は、議会全体の報告会であり、議員それぞれの考えの違いを表明する場でないことを了解いただきたい。

（別府市の回答及び対応状況） <企画部>

平成22年度から平成24年度にかけて、藤ヶ谷清掃センター運転業務を受託していた別府環境エンジニアリング(株)の役員が、引き続き仕事を行いたいとのことから暴力団等へ金銭を供与した事件については、広域圏事務組合に虚偽の誓約書を提出したため、組合が被害届を出し、その関係者が逮捕、裁判により刑が確定した事件と聞いております。

5) 交通対策関連

(具体的な意見や質問) 【古市公民館】

古市地区の生活道路に、大型車両が乗り入れて、離合もできずに危険な状態にあります。

過去、警察署に、大型車両の乗り入れ規制の申し入れを行いました。受理してもらえなかった経緯があります。

(議会として考え方や回答)

住民の皆さんの熱意により、規制が可能になると考えています。

皆さんとともに、関係機関に要望してまいります。

(別府市の回答及び対応状況) <建設部>

現地の状況を確認し、所管である国土交通省大分河川国道事務所へ対策を別府市より要望いたします。

(別府市の回答及び対応状況) <企画部>

別府警察署に確認しましたところ、大型車両の乗り入れ規制につきましては大型車両を使用する地場企業の同意を住民が得る(地場企業がなければ不要)ことと住民要望書と署名を別府警察署交通課に提出(署名は必須ではないが、あるのが望ましい)いただければ、受理し調査検討を行うとのことです。

(具体的な意見や質問) 【風呂本・御幸公民館】

「歩車分離式交差点」の信号機について、表示を分かりやすくしてほしい。青信号が短いので、長くしてほしい。

(議会として考え方や回答)

自治会を通して、警察に要望していただきたいと思います。

(別府市の回答及び対応状況) <企画部>

別府警察署に確認しましたところ、信号機に関する要望につきましては住民要望書と署名を交通課に提出(署名は必須ではないが、あるのが望ましい)いただければ、受理し調査検討を行うとのことです。

6) 水道事業関連

(具体的な意見や質問) 【中須賀公民館】

別府市は、水道料金が高い。

温泉関係の仕事に携わっている関係上、経費の多くを占めている。

過去に、水道料金の値下げで、市に陳情したが、回答がない。

(議会として考え方または回答)

現在、別府市の水道料金は、全国・大分県下の自治体と比較しても、高いものではありません。

一方で、福祉的な観点で考えると、入浴による健康増進は、公共の福祉に大きく寄与していると認識していますので、ご意見として承ります。

(別府市の回答及び対応状況) <水道局>

本市の水道料金は、一般的なご家庭で比較しますと、大分県下14市のうち、高いほうから9番目となっており、決して高いとは言いきれないものと考えています。

また、温泉給水については、他の用途に比べ低く料金を設定していますが、市営区営温泉については、区営温泉代表者との意見交換会等で、利用者数の減少、施設の老朽化などにより、経営状況は非常に厳しいものと認識しています。

水道局と致しまして、今後、経営の健全化を進める中で、温泉給水を含めた水道料金体系のあり方を検討し、総合的に判断したいと考えています。

（具体的な意見や質問） 【中須賀公民館】【風呂本・御幸公民館】

人口の減少により、水道使用料の収入減が続いており、維持管理の為、水道料金の値上げを実施している自治体もある。

別府市もこのような問題に陥るのではないかと懸念している。

水道企業会計の余剰金が底をついたら、水道料金が値上げされるのではないか。

（議会として考え方は回答）

水道料金の値下げが行われない原因として、職員数（人件費）が多いことが要因と認識しています。

現在、水道局も人員の削減を行っており、値上げの前に経営改善を行うものと認識しています。

そのひとつとして、朝見浄水場の民間委託も計画されており、今後も民間活力の導入が行われるものと認識しています。

議会としては、水道料金の値上げの前に、経営改善を求めてまいります。

（別府市の回答及び対応状況）<水道局>

水道事業は、独立採算制が建前で、お客様から頂いた料金収入で水道事業を運営しております。

財政状況につきましては、ご指摘のとおり、人口減少や世帯の分散化などによる水道料金収入の減少により、投資的な財源の安定的な確保が厳しくなっているのが現状でございますが、安全で安心な水の供給のための施設の更新事業や地震に備えた施設の耐震化などの投資的財源の安定した確保が必要となります。

水道局と致しましては、現状を踏まえて、適正な人員配置などによる経費の節減、事務の効率化など、経営の健全化を進め、企業努力を重ね、できる限り、現行料金水準を維持していきたいと考えております。

（具体的な意見や質問） 【小坂公民館】

平川の谷の配水地に、配水タンクが設置されているが、配水管の約1.5kmの区間で、配水管の耐震化を行うと聞いている。（約2年前）

今年度（平成26年度）の予算で実施されるのか。

（議会として考え方は回答）

水道局においては、耐震化事業を計画的に実施しています。

当該の配水管については、水道局に確認のうえで、ご報告いたします。

（別府市の回答及び対応状況）<水道局>

耐震化を計画しているのは配水管ではなく、小坂水源地の受水槽から小坂配水池までの送水管（約1km）であります。

現在、農業用水路に沿って布設されている送水管を、平成26年度より2ヵ年で耐震管に更新する予定でしたが、東部振興局が農業用水路改修を計画していることから、共同施工で1ヵ年（平成26年度中）で更新する方向で調整しています。

7) 都市整備関連

(具体的な意見や質問) 【堀田公民館】

大分市と湯布院は、都市整備がすすんでいるのに、別府市は遅れているように感じる。何とかしてほしい。

(議会として考え方または回答)

大分市は、駅ビルが完成する予定です。
別府市においても、他市に負けない魅力ある都市整備を進めていく必要があると考えています。

(別府市の回答及び対応状況) <建設部>

別府市におきましては、観光都市として魅力を高めるため、鉄輪温泉街の整備やJR別府駅周辺また、現在JR亀川駅周辺整備等を行っています。

また、景観計画や景観条例の策定などにより、民間の施設を含め、景観に配慮していただくようにしています。今後とも民間の協力もいただきながら、魅力ある都市整備が進められるように取り組んでいきたいと考えています。

（具体的な意見や質問） 【古市公民館】

海水浴場の利用者が減っている。

関の江海岸の整備も進んでいるが、福島県の原因問題等により、風評被害が広がっているように感じる。

海水浴場を初めとして、別府の海の安全性等をPRすべきではないか。

この現状を議会としてどのように捉えているのか。

（議会として考え方や回答）

別府市の海岸線は、埋め立てにより自然の海岸線が無くなっています。

関の江海岸は、唯一のこる自然の海岸です。

この重要性は、議会でも認識しています。

国や県を通じて、この海岸線が有効的なものになるように、行政（執行部）を通じて働きかけたいと思います。

（別府市の回答及び対応状況）<ONSENツーリズム部>

関の江海水浴場につきましては、平成24年度は台風の影響から海水浴客が減少していますが、過去3ヶ年の状況は、微増となっています。

(H23 3,680人 H24 2,535人 H25 3,750人)

特に昨年は、関の江海岸に絶滅危惧種のアカウミガメが産卵し、マスコミにも取り上げられ、関の江海岸の魅力が多くの方に伝わったものと思います。

現在、大分県が実施しています海岸整備と連携するとともに、地元自治会とも協力しながら、今後もさらに海水浴場の利用者が増えるよう取り組みたいと思います。

（別府市の回答及び対応状況）<建設部>

別府の海岸整備は、平成13年度に国直轄事業の別府港海岸保全施設整備事業（高潮対策）として事業採択を受け、北浜地区1、北浜地区2、餅ヶ浜地区、上人ヶ浜地区の4地区が整備され、県施行である北浜地区2の港湾緑地を除き、平成26年度に完成します。また、大分県施行による関の江海岸の整備は、平成28年度以降の完成を予定しています。

この海岸整備は、平成9年に改正された海岸法に基づき、従来の防護機能だけでなく、環境と利用に配慮したものです。特に、餅ヶ浜地区及び関の江海岸の整備は、緩傾斜護岸、養浜の組み合わせによる面的防護方式の採用で、海岸の利用者が海辺まで近づけ、日常的に海と親しめる海岸です。

（具体的な意見や質問） 【ふれあい広場・サザンクロス】

旧南小学校跡地の問題は、何年かかっているのか。

過去の議会で、否決されたと聞く。

道路のアクセスが悪い。

図書館を計画してほしい。

図書館の2階（上部）に、単身者の住宅（介護住宅等）を民間活力により、作ってほしい。

（議会として考え方や回答）

旧南小学校の跡地利用は、議会が否決したのではなく、行政（執行部）が提案を取り下げたことは、ご認識していただきたい。

道路のアクセスについては、今年度 道路拡幅等の調査の予算が計上されています。

この調査は、県に道路拡幅をお願いするために実施するもので、現在の手法では、5年以内の工事着工は、難しいと考えています。

跡地の利活用と道路の問題は、切り離して考えなければ、早い段階での問題解決には至らないと理解しています。

図書館の計画については、市の財政負担を考慮した結果、見送ることとなりました。

現在は、民間活力を活用した跡地利用を検討しています。

（別府市の回答及び対応状況） <建設部>

旧南小学校跡地の活用につきましては、南部地域の活性化に資する民間施設の立地を図るため、跡地活用方針と公募条件の検討を行い、できるだけ早い時期に公募できるようにしていきたいと考えています。

今年度につきましては、今後の南部地区のまちづくり方針等を策定した上で、市場調査等を行い、どういう公募条件にしていくかなど検討していくこととしています。

また、南部地区の道路整備につきましても、今年度検討を行い、都市計画の変更や事業等について県と協議等していきたいと考えています。

（別府市の回答及び対応状況） <企画部>

旧南小跡地での図書館等の複合施設の建設は南部地区振興策と一体で進めていましたが、平成21年3月末の「基本計画」及び「PFI導入可能性調査報告書」の試算では、多額の建設費と維持管理費・運営費がかかることが示され、今後の別府市の財政状況等に過度の負担がかかることから、計画を断念することとしました。

（具体的な意見や質問 ） 【ふれあい広場・サザンクロス】

「温泉まつり」の会場である松原公園の水はけが悪い。

（議会として考え方は回答 ）

この様なご意見は、地域に住んでいる方しか解らないことです。

今後とも、ご意見をお聞かせください。

（別府市の回答及び対応状況 ）<建設部>

松原公園につきましては、日常的な利用や、まつり会場としての利用など、地域の方々に有効に活用いただいておりますが、広場の雨水排水に支障が出ている状況であります。快適に安全にご利用いただけるよう、対策を検討してまいりたいと思います。

（具体的な意見や質問 ） 【ふれあい広場・サザンクロス】

鉄輪地区や亀川地区は、都市整備が積極的に行われているが、南地区は整備が遅れている。地区による公平性は保たれているのか。

（議会として考え方は回答 ）

旧南小学校跡地が10年以上にわたり放置されていることは、大きな問題と認識しています。

市民の皆さまから非難されても仕方が無いことと思います。

予算を提案する権限は、議会にはありませんが、市民の方々のご意見を集約して、行政（執行部）に反映することが、議会の職責と考えていますので、努力いたします。

（別府市の回答及び対応状況 ）<建設部>

南部地区におきましては、長年の問題となっております旧南小学校跡地の活用を図ることがまず第一であると考えています。

旧南小学校の活用及び道路整備等について、今年度一定の方向性ができるように取り組んでいるところであります。

（具体的な意見や質問 ） 【風呂本・御幸公民館】

地区の公園、道路の補修等が不十分と感じる。

（議会として考え方は回答 ）

展望公園や里道等の整備については、行政（執行部）に要望中です。

今年度（平成26年度）又は来年度（平成27年度）中に整備される予定です。

（別府市の回答及び対応状況 ）<建設部>

展望公園につきましては、園内の樹木剪定及び安全柵の改修を行いました。今後とも、適切な維持管理に努めてまいりたいと思います。

（別府市の回答及び対応状況 ）<建設部>

要望のありました展望公園への道路整備は、計画的に整備しており今年度も引き続き工事を行う予定です。早期完成に努めます。

（具体的な意見や質問） 【風呂本・御幸公民館】

公園整備で、国からの補助金や交付金はないのか。
鉄輪温泉は、国民保養温泉の指定を受けている。

（議会として考え方または回答）

国からの地方交付金に含まれていますが、行政（執行部）がどのように使うかが課題だと認識しています。

（別府市の回答及び対応状況） <建設部>

都市公園の整備については、一定の規模や事業費の要件がありますが、社会資本整備総合交付金という国の交付金制度があります。

鉄輪地区において交付金等を活用し整備してきた公園としましては、鉄輪地獄地帯公園や大谷公園などがあります。

3. 福祉関係

1) 社会福祉関連

(具体的な意見や質問) 【堀田公民館】

介護保険料、国民健康保険税が、別府市は高いと思う。下げてもらいたい。

(議会として考え方や回答)

利用者の負担が増えていると認識しています。

人口減少や高齢化により医療費や介護給付費が増加しています。

皆さんが負担する医療費等は、国が定めた基準で決定していますので、市（行政）が積極的に関与することは難しいと考えています。

しかし、市としても予防事業等の実施により、医療費等の抑制に努めています。

(別府市の回答及び対応状況) <福祉保健部>

介護保険の財源は、国・県・市が負担する公費50%と40歳以上の方が負担する保険料50%でまかなわれています。また、保険料のうち65歳以上が負担するのは40歳以上の人口比により全体の21%です。

保険料の決定方法は3年を1期とした介護保険事業計画を策定し、給付費の見込み額を算出して計算されます。現在は、平成24年度から26年度まで第5期計画期間中でございます。

現在平成27年度からの3年間の第6期計画を策定しています。これまでの決算状況を見ますと次期計画期間中に介護保険料を上げる状況ではないと予想しています。また、国の税と社会保障の一体改革により低所得者に対し、介護保険料を軽減するために最大1300億円が投入されることとなっています。これにより世帯非課税の方の保険料負担は軽くなると考えられます。

(別府市の回答及び対応状況) <総務部>

保険税の算出にあたっては、加入者の医療費並びに所得等が大きく影響します。

特に市町村が運営する国民健康保険は加入者の高齢化により、年々医療費が増加しており、保険税の負担も増加しています。

この様な状況の中で、当市は平成24・25年度に一般会計から繰入をして累積赤字の解消を図り、保険税の値上りを抑制してきました。

国民健康保険の財政は、高齢化の進展による医療費の増加により、今後も厳しい財政運営が続くと思われませんが、保健事業等の実施による加入者の健康増進を図ることにより、保険税の負担軽減に向け努力していきたいと考えています。

(具体的な意見や質問) 【扇山公民館】

生活保護費の受給額が多いと聞く。
国民年金の受給額より多いのはおかしいのではないか。

議員に頼めば、生活保護費をもらえると聞いたが本当か。

(議会として考え方は回答)

ご意見は、行政（執行部）にお伝えいたします。

生活保護の認定については、基準があります。
議員に頼めば受給が可能になることはありません。

(別府市の回答及び対応状況) <福祉保健部>

生活保護費は、被保護者の年齢、世帯構成、所在地域などを基準に厚生労働大臣が定めることになっており、これを最低生活費と言います。

国民年金は、自営業の夫婦をモデルとしたため単身世帯では最低生活費を下回ります。

国民年金創設当時の主な加入者だった自営業の方は、年金を受給しながら働き続ける人が多く、生活費の全てを国民年金で賄うような制度設計にはしなかった経緯があります。そのため年金保険料も低めに設定されました。

年金収入が最低生活費に満たず他に収入もない方は、生活保護基準に該当すれば最低生活費と年金額との差額を受給できます。詳しくは社会福祉課にお問合せください。

生活保護の適用は、国の基準(生活保護法及び実施要領等)に従って適正に審査・決定されます。

議員に依頼することでこの適用基準が変わることはありません。したがって、生活保護を受給しやすくなるということはありません。

(具体的な意見や質問) 【風呂本・御幸公民館】

観光客が、急病の時の消防の救急隊や病院の対応がとても良いと聞いている。
市内や市外にアピールすべきと思う。

(議会として考え方は回答)

ご意見として、行政（執行部）にお伝えいたします。

(別府市の回答及び対応状況) <消防本部>

貴重なご意見ありがとうございました。

今後とも、市民並びに観光客のため、病気などの緊急時には適切、的確な処置を施し、迅速に医療機関へ搬送し、安全で安心して暮らせる別府を目指します。

観光都市別府のアピールにつきましては、市報や消防本部のホームページ上に観光客の救急搬送人員の統計、また救急車で搬送された方からのお礼等の手紙を「感謝の声」として掲載していきたいと考えております。それにより、観光客の方が安全で安心して訪れることのできる別府をアピールしていきたいと考えております。

4. 産業振興関係

1) 中心市街地活性化関連

(具体的な意見や質問) 【中須賀公民館】【野口ふれあい交流センター】

近鉄跡地の今後は、どのようになっているのか。
議会としては、どのような対応を考えているのか。

(議会として考え方や回答)

議会としても近鉄跡地は、中心市街地の活性化において、重要な位置を占めていると考えています。

議会としても早い段階で、意見を集約して契約者に伝えていきたいと思います。

現在、具体的な開発計画について、民買された企業からの提案はありません。
行政（執行部）と議会が共に、監視する必要があると認識しています。

民間の開発計画については、行政（執行部）としての規制範囲は限られたものになると思われます。

今後、企業から地域住民や行政（執行部）に説明があると思いますので、その経緯により、議会としても意見等を伝えていくことになると思います。

(別府市の回答及び対応状況) <ONSENツーリズム部>

近鉄跡地は、福岡市の不動産会社を取得いたしました。今後は一時的に駐車場として利用しながら、具体的な用途を検討する意向ですが、街の活性化につながるよう市の要望を伝えていきたいと考えています。

2) 企業誘致関連

(具体的な意見や質問) 【小坂公民館】

企業誘致が進んでいない。
観光施策も良いが、定住できる施策を推進してほしい。

(議会として考え方または回答)

ご意見として、承ります。

(別府市の回答及び対応状況) < O N S E N ツーリズム部 >

最近では平成26年4月より、おおいたLSIクラスター構想の企業誘致により、半導体、半導体検査機械の設計を行うエムエスアイ(株)が支店を開設しました。また、平成26年2月にCYBERDINE(株)の子会社大分ロボケアセンター(株)が太陽の家内に設立されました。

今後も企業誘致を推進していきます。

(別府市の回答及び対応状況) < 企画部 >

移住・定住の促進のため、今年度転出入者及び市外居住者に対するアンケート調査を行います。アンケート調査を基に、平成28年度から始まる別府市後期基本計画に反映させるとともに、具体的な施策について検討を行います。

3) 観光対策関連

(具体的な意見や質問) 【堀田公民館】

観光都市として、宿泊者数の減少に歯止めをかけてほしい。
働く場所をつくる街づくりを行ってほしい。(雇用創出施策)

(議会として考え方や回答)

ご意見として、承ります。

(別府市の回答及び対応状況) <ONSENツーリズム部>

宿泊観光客数は、過去3ヶ年を分析しますと、平成23年は東日本大震災の影響からか宿泊客が減少したものの、平成24年は回復し、さらに平成25年は様々な事業を実施したこともあり、宿泊数が前年度を超える見込みとなっています。

平成26年は、消費税の増税もあり今後の動向を注視しながら、引き続き誘客事業に努めたいと思います。

(別府市の回答及び対応状況) <ONSENツーリズム部>

別府市では雇用創出の基金を活用しました緊急雇用創出事業として、平成21年度～平成25年度の5ヵ年間で、561名の新規雇用を創出してまいりました。

今後も同基金を活用した雇用や在職者への処遇改善の支援に取り組んでまいりたいと考えています。

（具体的な意見や質問） 【古市公民館】

今年度（平成26年度）の観光関連予算が少ないように感じられる。

別府市は、観光都市だ。

「誘客プロモーション事業」の成果は、あったのか。

（議会として考え方は回答）

このことについては、議会の本会議において、行政（執行部）に質問をいたしました。行政（執行部）からは、集客効果や経済効果があったことが、具体的数値を示した上で、答弁がありました。

しかしながら、疑問が解決したとは、考えておりません。

事業の成果は、中・長期的な立場に立って事業を展開する必要があるとの意見もあり、今年度（平成26年度）は内容を変えて実施することを議会も承認した次第です。

議会としても、今後の状況を見極めつつ検証する必要があると認識しています。

（別府市の回答及び対応状況）＜ONSENツーリズム部＞

誘客プロモーション事業につきましては、具体的な数値として、次のとおりとなっています。

- 事業全体での誘客数で推計：約100,000人
- ビーコンプラザ芝広場のドーム設置期間中の来場者数は60,124人
その来場者内訳で44都道府県、海外10カ国
- 山の手中学校で開催したプロジェクションマッピングは5日間で11,020人
- 11月～1月の3ヶ月間で536,000回のアクセスがあったことに代表される新たな情報発信による若い年齢層の観光客の波及
(参考：別府市公式ホームページ観光ページ同月同期間で34,438アクセス)

次に、事業実施に伴う波及効果として

- 別府市旅館ホテル組合のアンケート調査から、ドーム開催期間中の11、12月の宿泊者の占める19歳以下の割合が前年度から120%、10代から40代までの宿泊者の年齢層で160%の伸び
- プロモーション事業を開催したことによる民間の若い方たちによる自主的イベントの開催と人材の発掘
*自家用車にペインティングを施した俗に言う「痛車」と呼ばれるペインティングカーの展示会やアニメソングのライブ開催

以上の様に別府市が有する既存の観光資源を活用しながら観光都市として付加価値を付け、これまでとは異なる手法による新しい魅力による観光客、特に宿泊客の誘致を図る目的で実施したことにおいて、一定の成果があったものと考えています。

但し、今後大きな成果に結びつける為にも事業実施の結果検証、分析等をしながら事業展開に取り組んでいきます。

（具体的な意見や質問） 【古市公民館】

別府市は、全国的に見ても地域資源に恵まれた地域だと思う。

しかし、国内外に対してのPRが不足していると感じている。

議会・行政（執行部）・市民が一体となって、新しい組織を作り積極的なPRを行うべきだ。

（議会として考え方または回答）

魅力ある街をPRして、若者の定住を促進することは、人口減少問題を考えても、重要なことと認識しています。

温泉資源に関しては、沢山ありすぎて集中的な整備ができていないのが現状です。

今後、地域の特色を活かした温泉施設整備やPRを行っていく必要があると考えています。

また、核となる温泉施設や文化施設等を整備することも課題だと考えています。

国際観光港等は、十分な活用ができていないと感じています。

その活用案として、「道の駅」を整備すれば、観光施設の核になるという意見もあります。

しかし、予算等が関係することですので、行政（執行部）に意見を伝えてまいります。

（別府市の回答及び対応状況）<ONSENツーリズム部>

日本一を誇る「温泉」を有する観光資源の最大限に効果的な活用を図りながら各々の特徴を併せて、旅行者や求めるニーズに魅力を加えながら満足する観光都市として誘客を図ることは大変重要なことであり、そのために各関係者並びに観光関係団体をはじめとした様々な方々との協力、連携は不可欠です。

今後の様々な状況や機会を相互間で情報共有しながら、観光客の誘致と都市の活性という一つの目標に対して積極的に取り組んでいきたいと考えています。

（別府市の回答及び対応状況）<ONSENツーリズム部>

市営温泉のうち、13施設は「指定管理者制度」により民間団体等が管理運営を行っています。

既存の市営温泉施設でも、各施設の地域性や特色を活かして運営を行っています。

砂湯、むし湯など、湯につかる以外の入浴方法を体験できる施設もあります。また、健康増進のための水中運動を行うことができる施設では、健康教室の開催などの事業展開を図っています。

さらに、鉄輪地区では「地獄蒸し工房鉄輪」と「鉄輪むし湯」を中心に温泉街の町並みを観光客が周遊し「食」「癒」を楽しめるような整備がなされています。

今後既存の施設とのバランスもとりながら、また「道の駅」のような観光施設と連動できるような温泉施設についても検討していきたいと考えております。

(具体的な意見や質問) 【古市公民館】

市営温泉で、アルコールの販売を行ってほしい。

アルコールがだめであれば、ノンアルコールのお酒を置いてほしい。

入浴後の一杯は、最高の贅沢であり、観光都市の「おもてなし」として、取り組むべきだ。

(議会として考え方は回答)

難しい問題と考えています。

ご意見は、行政（執行部）にお伝えいたします。

(別府市の回答及び対応状況) <ONSENツーリズム部>

現在市営温泉のうち13施設では「指定管理者制度」を導入し、民間団体等が管理運営を行っています。

指定管理を行う団体は「自主事業」として自動販売機の設置や物品の販売等を行うことができることになっています。

アルコール類の販売に関しては、市が特に規制を設けることはしていません。

販売するにあたり、施設に掲示することとされている、入浴上の注意事項で「飲酒しての入浴は特に注意すること」とされており、入浴前に飲酒を行った利用者の体調管理に関する注意について一層念入りに行うことや、飲酒した利用者同士のトラブルなどの対策などの課題はありますが、アルコールの販売は可能と考えます。今後アルコールの販売について、ご意見を承ったことを指定管理者に周知するなどしていきたいと考えています。

(具体的な意見や質問) 【小坂公民館】

誘客プロモーション事業とは、どのような事業なのか。

(議会として考え方は回答)

若い世代や海外で関心の高い、アニメを活用した観光事業です。

従来（中高年）の方ではなく、若い年齢層を対象に事業を実施することにより、集客の幅を広げることを目的としています。

継続することにより、効果がでる事業と考えています。

(別府市の回答及び対応状況) <ONSENツーリズム部>

これまで別府市が有する「温泉」「風景」「おもてなし」等の癒しの空間と素晴らしい観光素材にさらなる付加価値をつけ、また別府市を訪れる旅行の動機付けを新たに見出すことで、他市には無い様々な選択肢の中で別府市への誘客、特に宿泊客の誘致を図るものであり、ある意味部分的には、これまでのイメージからの脱却と新たなスタートとして定着させていくものと考えています。その中で、これまで別府市が弱いとされた若い年齢層に対する誘客を想定しながら、そのものの波及や情報が世界中のファンや各ネットワークを通じて大きな広がりを実現できる「アニメキャラクター」による別府市の魅力を紹介することで、既存する観光素材を違った魅力で伝え、新たな観光客の誘致を図れることを目的とした事業です。

（具体的な意見や質問） 【扇山公民館】

湯布院は、若い観光客も多く、別府市は観光面で乗り遅れていると思う。

（議会として考え方は回答）

従来より、別府市は歓楽街、湯布院は自然を活かした奥座敷というイメージがあります。湯布院は、建物等の規制により町並みを整備しましたが、別府市は街づくりに対する規制を行わなかった

地域を決めて、集中的に整備する必要があると認識しています。

（別府市の回答及び対応状況）<ONSENツーリズム部>

別府市の特徴といたしましては、古くから湯治場として栄えたことから、観光客の年代は比較的高いものと思います。

こうしたことから、若年層やファミリー層の誘客対策として、平成25年度は誘客プロモーション事業、インターネット広告宣伝事業に取り組みました。

各観光都市は、それぞれの特徴や魅力がございますので、単純に比較はできませんが、今後とも別府温泉の独自の魅力が発揮できるよう、様々な事業に取り組みたいと思います。

（具体的な意見や質問） 【扇山公民館】

オリアナ号栈橋を釣り場として整備してほしい。

（議会として考え方は回答）

オリアナ号栈橋は、老朽化が進んでおり再利用するには、予算がかかります。

また、釣り場の安全や駐車場の確保等の整備を行わなければならないと考えています。難しい問題と認識しています。

（別府市の回答及び対応状況）<建設部>

旧オリアナ号栈橋は餅ヶ浜栈橋として名称を変更し、日中の8時から17時までは誰でも利用できるよう一般開放しており、朝夕の散歩やランニングなど利用されています。

現在、栈橋は、建設後約27年が経過し、老朽化が見受けられますので、栈橋の長寿命化計画を基に年次計画で補修補強を行っています。なお、つり栈橋への再整備は、将来的な利活用方法の一つとして有効ではありますが、多額の費用が見込まれるため、栈橋の有効利用について今後とも考えてまいりたいと思います。

5. 文化教育関係

1) 文化振興関連

(具体的な意見や質問) 【中須賀公民館】

中央公民館のリニューアルについては、多大な公費が投入されると聞いている。
市の財政が厳しい中で、優先順位の高い事業なのか疑問だ。
このほかに、美術館・図書館等の問題もあるが、どのように考えているのか。

(議会として考え方または回答)

国等の補助制度を最大限活用し、市の財政を圧迫しない手法により、事業を実施することが好ましいと考えています。

中央公民館のリニューアルについては、行政（執行部）の提案に対し、全体計画をより明確にすべきとの附帯決議をいたしました。

議会としては、行政（執行部）のチェック機能を強化して、自治体運営の健全化に取り組まなければならないと認識しています。

(別府市の回答及び対応状況) <教育委員会>

中央公民館・市民会館につきましては、昭和3年に建設された県内最古のコンクリート建築物であり、現在も多くの市民の方々に利用されている社会教育施設であります。

今回の改修工事は、利用者の安心・安全を最優先するための耐震補強工事を中心とした内容であり、併せて歴史的建造物を後世に伝えることができる意義深いものであると考えております。

また、美術館・図書館等の問題につきましては、財政状況を勘案の上、検討してまいります。

（具体的な意見や質問） 【扇山公民館】

空き家を利用して、グループホーム等を作ったり、図書館を作ってはどうか。

（議会として考え方や回答）

図書館については、よりよい環境で子供が十二分に利用できる魅力ある場が必要と考えています。

（別府市の回答及び対応状況）＜福祉保健部＞

空き家を利用してのグループホームの設置にあたってはその設備基準の関係から、かなり困難な状況があると判断しております。

空き家を利用しての施設としては小規模多機能型居宅介護施設の設置が適当であると判断していますので、社会福祉法人等のご協力により、その設置可能であれば推進していきたいと考えております。

（別府市の回答及び対応状況）＜教育委員会＞

現在の千代町にある図書館を利用しにくい地域にお住まいの方、障がいなどの理由で来館できない方のために移動図書館車を市内に巡回しておりますので、どうぞご利用ください。

（具体的な意見や質問） 【ふれあい広場・サザンクロス】

現在の図書館に、駐車場がない。

新しい図書館の建設よりも既存の施設をどのように活用するかを検討すべきだ。

現実を直視して、地についての議論を行うべきだ。

（議会として考え方や回答）

このご意見は、議会としても真摯に受け止めさせていただきます。

（別府市の回答及び対応状況）＜教育委員会＞

図書館の駐車場につきましてはこれまでご指摘いただいております。最近ですが、図書館の秋葉通り側の民間駐車場を数台借り上げて来館者の方々にご利用いただいております。今後も、駐車場確保に努めてまいります。

また、今後も、既存の図書館について、蔵書数の増加やイベントの開催など、利用者の方々へのサービス向上に努めていきたいと考えております。

2) 教育関連

(具体的な意見や質問) 【堀田公民館】

児童・学童等の学力の低下が指摘されている。

土曜授業を5日程度行う予定と聞いているが、別府市として、斬新な学力向上に向けた取り組みをしてほしい。

また、学校施設を災害避難場所として、充実を図ってもらいたい。

(議会として考え方は回答)

土曜授業については、別府市においても、今年度（平成26年度）から施行準備期間として実施いたします。

中学校は、全校で実施いたします。小学校は、亀川小学校等で実施いたします。

来年度（平成27年度）から本格的な実施予定です。

また、各学校施設の耐震化は、終了いたしました。災害備蓄品等の整備も順次行われる予定です。

(別府市の回答及び対応状況) < 教育委員会 >

土曜授業につきましては、年間4～5回程度の実施を考えています。そのなかで、学校、家庭、地域が連携し、役割分担しながら、学校における授業や地域における多様な学習、文化やスポーツ、体験活動等の機会の充実を図ることで、質の高い教育環境づくりに努めたいと考えています。

(別府市の回答及び対応状況) < 企画部 >

災害の避難場所として使用される各小中学校の耐震化は、平成26年度中に終える予定です。

小中学校の体育館を避難所として使用するに当たり、平成24年度・25年度の二か年で学校施設内に災害用備蓄品の配置を行いました。

（具体的な意見や質問） 【野口ふれあい交流センター】

青山小学校新校舎等建設事業は、どのような内容なのか。

現在の進捗状況はどうなっているのか。

学校統廃合に伴い、校区の見直しはどうなっているのか。（旧野口小学校区で青山小学校が近い地域も存在している。）

別府中央小学校の統廃合の時に、議員個人は見直すべきとの意見があったが、結果を見ると見直しが行われなかった。

議会や行政（執行部）に対して、不信感を感じる。

（議会として考え方または回答）

青山小学校は、平成28年度の開校に向けて、新校舎の建設・通学路・学校名等を協議していくこととなっています。

校区の見直しについては、具体的な話として、教育委員会から議会に対して無いものと認識しています。

しかし、海岸線沿いの小学校（別府中央小学校等）は、津波等の災害対策が問題点として、議論された経緯もあります。

行政や教育委員会まかせではなく、議会もこの問題に、積極的に取り組んでいく必要があると考えています。

（別府市の回答及び対応状況） <教育委員会>

青山小学校と西小学校の統合校は、校地を青山小学校とし、平成28年度の開校に向けて準備を行っております。統合小学校は、現在の青山小学校の管理棟、体育館、グラウンドなどはそのまま活用し、社会福祉会館南側の新日鐵跡地保養所西側に新校舎を建設します。新校舎と旧校舎の間は連絡通路でつなぎ、児童の安全を確保します。

校区の見直しにつきましては、今後、通学区審議会等において検討を進めていく予定です。

（具体的な意見や質問） 【野口ふれあい交流センター】

別府中央小学校の統廃合時に、災害等に対する議論がなされたはずだ。

その場限りの議論ではなく、議会も責任をもって、議決をすべきだ。

津波等の災害で、中央小学校が危険な状態であるならば、その点を考慮して、学校統廃合を進めるべきだ。

（議会として考え方は回答）

別府中央小学校だけでなく、市内全体を考えなければならないと認識しています。

学校に対する国の示す津波対策が策定中（高台移転等）ですので、今後議論が加速するものと認識しています。

また、学校区の見直し等については、教育委員会に意見としてお伝えいたします。

（別府市の回答及び対応状況）＜教育委員会＞

津波等の災害への対応につきましては、市内全体の枠組みのなかで考えなければならないと認識しています。今後は、国の方針等を見据えながら、学校統合や学校の設置場所等につきまして検討していきます。

（具体的な意見や質問） 【扇山公民館】

学校の統廃合は止めて、30人以下の学級を増やしてほしい。

生徒が増えると、授業が騒がしくて話が聞こえない。

生徒数が減少すれば、静かな環境で授業ができるのではないか。

教室にエアコンを設置して、より良い環境を作してほしい。

また、現在の図書館は、距離が遠いので、地区の近くに図書館を作してほしい。

（議会として考え方は回答）

ご意見として、教育委員会にお伝えいたします。

（別府市の回答及び対応状況）＜教育委員会＞

学級の編成につきましては国・県の基準で定められており、現在は小学校1、2年生と中学校1年生において30人以下の学級が実現しています。1学級が30人以下の対象学年が更に拡大されるよう、今後も引き続き関係機関にはたらきかけていきます。

教室のエアコン設置につきましては、教室の室温調査を実施し、その結果を踏まえながら、検討していきたいと考えております。

図書館につきましては、市内を巡回しております移動図書館車をご利用ください。

（具体的な意見や質問） 【ふれあい広場・サザンクロス】

放課後児童クラブの敷地が狭い。

雨の日は、広場がぬかるんでいるので、一度状況を見てほしい。

（議会として考え方は回答）

ご意見として、行政（執行部）にお伝えいたします。

（別府市の回答及び対応状況）＜福祉保健部＞

貴重なご意見ありがとうございます。

クラブ敷地につきましては、学校内や市有地等の限られた敷地を活用し整備しておりますので充分満足のいく敷地を確保できていない状況でございます。ご不便をおかけし大変申し訳無く感じているところではございますが、何卒ご理解の程お願いいたします。

ただ、敷地外等の利用につきましては、関係各課に働きかけたいと存じます。

雨の日のぬかるみの状況につきましては存知上げております。場所により多少の差はありますが、どこの児童クラブも同様な状態です。こちらもご不便をおかけして大変恐縮ではございますが、何卒ご理解の程お願いいたします。

（具体的な意見や質問） 【風呂本・御幸公民館】

先生の仕事量が多い。

生徒との「ふれあい（交流）」に、時間をかけるべきだ。

先生の負担を軽減するために人員を増やすべきだ。

教育費により予算をかけるべきと考える。

（議会として考え方は回答）

先生の事務を軽減して、子供のための教育に集中できるように改善すべきと認識しています。

中学校における図書館司書は、各校1名の配置となりました。

また、「いきいきプラン」で、先生も増やすこともできましたが、まだ十分ではないと考えています。

（別府市の回答及び対応状況）＜教育委員会＞

教員の多忙化につきましては、例えば事務的調査であればより簡潔なものにしたり、会議や研修については実施回数・内容や構成を工夫して時間を短くするなどして、教員が子どもたちと向き合うことのできる時間をできるだけ確保できるよう努めていきます。

また、人員配置についてですが、図書館司書や「いきいきプラン」支援員、スクールサポーターなど多くの人員を配置することは、教員を始め多くの大人が子どもたちの健全な成長を見守ることに繋がると考えておりますので、関係各課と更に協議を続けていきます。

6. 災害・防災関係

1) 災害・防災関連

(具体的な意見や質問) 【堀田公民館】

3年前に、別府ロープウェイから、南立石にかけて水害があった。
県土木や市の道路河川課が、復旧をしてくれたが、大雨が降るたびに心配になる。
工事の進捗状況が遅いので、市からも国や県に働きかけて、早く工事が終了するよう
にしてほしい。

(議会として考え方や回答)

災害対策等は、危険度により、優先順位をつけて実施しています。
国や県の所管であると認識していますが、基本的には別府市の問題ですので、行政（
執行部）にお伝えいたしますとともに、住民の皆さまの不安解消に努めたいと思います。

(別府市の回答及び対応状況) <建設部>

緊急性を要するため、優先順位を高め大分県で整備を進めております。また毎年行っ
ています防災パトロールでも各関係機関で、現地を調査しています。
県の説明によると規模が大きい為、一度に施工することは難しいと聞いています。
別府市としましても早期完成を要望していきます。

(別府市の回答及び対応状況) <企画部>

大分県東部振興局は、平成24年7月の豪雨で土砂等が流出した板地川流域に、土砂
や流木をせき止めるため幅5.1m、高さ7mの治山ダム1基を平成26年5月に設置し
ました。
今年度、ダム上流部で土砂崩れの恐れのある6か所についても土留めを設ける予定で
す。
治山ダムについては平成26年度で終了予定ですが、砂防ダムは今年度を含め5年計
計とのことです。
また、鶴見岳の別府ロープウェイ近郊の溪流には、幅9.1m、高さ14mの治山ダム
など5基が完成、土石流の感知センサーに連動した警報装置も備え付けられ、平成27
年度の事業完成を予定しているとのことです。
本市としましても、毎年、防災パトロールを実施するなかで、引き続き早期事業の完
成を要望していきたいと考えています。

（具体的な意見や質問） 【堀田公民館】

大雨や台風時に、川から水が溢れる恐れがある。
堤防工事等により、安全性を確保してほしい。
また、看板等は注意を促しているが、具体的な対策を行ってほしい。

（議会として考え方は回答）

行政にご意見として、お伝えします。

（別府市の回答及び対応状況）<建設部>

平成24年7月の九州北部豪雨による堀田4組の土砂災害の対策として、大分県により、板地川の上流側にダムが完成(平成26年5月)しています。

さらに谷を流れる雨水が円滑に板地川に流入するよう水路を設置する等の対策を行う予定です。市としましては、引き続き県に対して早期の完成を要望いたします。

（具体的な意見や質問） 【堀田公民館】

災害時に、側溝等の改修を含めて、より敏速に動ける体制を作してほしい。

市の職員は、災害時に家にいるのではなく現場の写真等をもって現状把握に努めてほしい。

土砂や側溝の問題については、事後の状況しか把握していない。
連絡すれば、写真を撮ってくれるような体制を作るべきだ。

（議会として考え方は回答）

カーブミラーや側溝又は道路等は、地元の自治会長から行政（執行部）に連絡することが適切と考えます。

また、職員が自治会に積極的に参加するようになれば、市民サービスの向上により寄与するものと認識しています。

他の自治体では、携帯電話で写真や動画を撮影して、行政（執行部）に送信するシステムがあると聞いています。

しかし、災害時には多くの情報が送られてくる為に、その処理が困難になるとの意見も聞いています。

（別府市の回答及び対応状況）<建設部>

災害時や、台風の接近が予測される場合等は、職員を呼集し、市民からの通報を受け現地調査し、写真を撮る等対応をしています。また、別府市では災害等の状況に応じて災害対策本部を設置するなどの体制を早急にとり災害に対応しています。

今後とも市民の皆様の連絡により、早急に対応するよう努めてまいります。

（具体的な意見や質問） 【堀田公民館】

防災無線放送の体制を確立してほしい。

自治会の要所に防災無線放送設備を設置して、敏速に危険を知らせるようにしてほしい。

国や県の補助金等を活用してできないものか。

（議会として考え方または回答）

沿岸部においては、有線放送等でお知らせするようにしています。

今年度（平成26年度）は、約1億円の予算を計上しています。

しかし、災害対策ですので、体制づくりを急ぐ必要があると認識しています。

（別府市の回答及び対応状況）<企画部>

平成26年度は、津波対策として市民・観光客に早期避難を促すため沿岸部にサイレンとスピーカーを設置する事業を行います。今後、山間部の土砂災害に関しての情報伝達手段の構築をしなければならないと考えております。

現状では、自治会長さんへの電話連絡や広報車による広報を行っており、広範囲に避難勧告等を発令する場合などは、携帯電話へ緊急速報メールを発信することとしています。

サイレン・スピーカーについては、風水害時は聞き取れない等のデメリットが多いため、他市被災地などでの検証も参考にして、どのような情報発信手段が有効なのか今後検討していきたいと考えています。

（具体的な意見や質問） 【古市公民館】

亀川地区は、海拔が低い地域に人口が集中している。

避難路の確保は、行政（執行部）に指定してもらったが、安全性を考えると十分とはいえない。（行き止まり等がある。）

古市地区においては、亀川の防災放送（サイレン等）が聞こえない。（亀川消防署）

今度、亀川小学校に防災放送設備が設置されると聞いているが、放送が聞こえるのか心配だ。

設置した後に、検証や調査を行って、改善が必要な場合は、しっかり対処してほしい。

（議会として考え方または回答）

全国的に、防災無線が聞こえにくいとの意見は聞いています。

また、別の手法として防災メールや防災ラジオ等の伝達方法もありますので、議会としても幅広く、確実な情報伝達手段を行政（執行部）に提案したいと考えています。

災害の種類も、土砂・津波・火事等様々なものがあり、規模も様々です。

そのケースにあった避難場所や避難路等の確保は、必要不可欠と認識していますので、早急な対応を行政（執行部）に求めてまいります。

（別府市の回答及び対応状況）<企画部>

亀川地区は海拔が低いところが多く浸水域が広いため、防災無線の音達範囲については、設置後の検証や調査が必要であると認識しています。

今後、防災無線の検証などは行っていますが、情報取得方法は防災無線だけに限らず、ラジオ・テレビからの防災情報や携帯電話で受け取れる緊急速報メールや県民安心安全メール等、いろいろな情報をたくさん受け取れるような対策をお願いします。

（具体的な意見や質問） 【中須賀公民館】【ふれあい広場・サザンクロス】

耐震改修補助金を大規模な企業に補助することに疑問を感じる。
補助要件に該当しない旅館・ホテル等に補助されず不平等である。
経営基盤の強い企業は、自主努力により行うべきである。
今回の補助金制度は、撤廃してほしい。

（議会として考え方は回答）

議会でも、賛成と反対がありました。
経営基盤の強い企業に公費を投入するより、福祉に重きをおくべきとの意見や、大規模ホテルは当市の基幹産業の中核であり、早急な対応が必要であるとの意見もありました。
個人的な意見としては、公費（税金）は等しく福祉に還元すべきと考えています。
営利企業を優先して補助することは好ましくないと考えています。

この補助制度に対する是非は、最終的に納税者（市民）の方々の判断によるものと認識しています。

（別府市の回答及び対応状況） <建設部>

耐震改修促進法の中では、学校・病院・老人福祉施設等さまざまな大規模建物が耐震診断の義務付けをされました。このため、国は公共事業と同様な補助制度を創設し、併せて地方負担を促していることから、本市としても対象建築物に助成制度を創設しました。

別府市は、観光立市という地域特性から、対象建築物の多くが旅館ホテルとなっています。本市の観光産業には、何らかの形で多くの市民の皆様がかかわりを持っており、安全安心の観光都市を目指している姿を、市民をはじめ観光客の皆様を示すことが必要なことから、政策として実施しているものです。是非ともご理解を頂きたいと考えています。

（具体的な意見や質問） 【中須賀公民館】

耐震診断・耐震改修等の補助金は、不平等である。
議会の議決による判断は間違っているのではないか。

（議会として考え方は回答）

賛成の意見としては、一定規模以上（補助要件を満たす施設）の施設は、災害対策において公益性が非常に高いと考えます。（避難場所として有効的等）

別府市は、観光産業が主であり基準は国が定めたものです。

大規模ホテルが収めている市税の額を勘案しても、補助金額はその範囲内であるとの意見もありました。

結果的に、別府市全体の基幹産業を保護する意味においても保護する必要があると判断いたしました。

（別府市の回答及び対応状況） <建設部>

耐震改修促進法の中では、学校・病院・老人福祉施設等さまざまな大規模建物が耐震診断の義務付けをされました。このため、国は公共事業と同様な補助制度を創設し、併せて地方負担を促していることから、本市としても対象建築物に助成制度を創設しました。

別府市は、観光立市という地域特性から、対象建築物の多くが旅館ホテルとなっています。本市の観光産業には、何らかの形で多くの市民の皆様がかかわりを持っており、安全安心の観光都市を目指している姿を、市民をはじめ観光客の皆様を示すことが必要なことから、政策として実施しているものです。是非ともご理解を頂きたいと考えています。

（具体的な意見や質問） 【中須賀公民館】

平成26年3月18日（火）に発生した住宅火災で、電柱が街灯が焦げている。
消火栓もないので、併せて復旧と設置をお願いしたい。
本来であれば、出火元が連絡と調整をすべきですが、この場を借りて要望したい。

（議会として考え方は回答）

外灯については、市の担当課、消火栓については、消防本部、電柱については、九州電力にお伝えいたします。

（別府市の回答及び対応状況） <建設部>

街灯については、地区の方等からの通報を受けて、取替工事は完了しています。

（別府市の回答及び対応状況） <消防本部>

ご指摘の場所は、4月に火災のありました上人南2組付近と拝察し、回答いたします。

当該地区の消火栓の設置状況ですが、「消防水利の基準」に定められている半径120m以下の範囲内に消防水利が点在しており、当該基準を充たしております。

消防水利の配置につきましては、都市計画法の用途地域毎に100m、120m、140mと距離が定められています。

この距離は、ホース（20m）10本で放水できることを一定の判断基準としています。消防車両にはホース10本以上を積載していますので、当該地区での消防活動において支障はないと考えます。

（具体的な意見や質問） 【野口ふれあい交流センター】

野口ふれあい交流センターは、避難場所の指定を受けている。

しかし、災害用備蓄品・耐震給水施設・トイレ等の浄化槽等で避難場所としての機能充実を要望したが、実現に至っていない。

その後の経緯がまったく分からない。

災害用備蓄品の整備計画等が分かれば教えてもらいたい。

（議会として考え方または回答）

今年度（平成26年度）の予算には、計上されていないと認識しています。（備蓄品）防災計画等は、市の危機管理課が策定していますので、要望等と併せてお伝えいたします。

小・中学校においては、備蓄品の整備が進んでいます。

その他の公共施設についても、整備計画があるかを行政（執行部）に確認いたします。

備蓄品の整備については、計画的（随時）に進んでいる状況は、ご理解していただきたい。

（別府市の回答及び対応状況）<企画部>

現在、避難所につきましては小中学校を中心とした収容避難所における備蓄物資の充実を図っております。小中学校以外の避難所につきましては、備蓄物資の保管場所の確保が難しいのが現状です。今後、野口ふれあい交流センターにおいて保管場所の確保が出来た場合は、備蓄物資を計画的に配置していきたいと考えています。

飲料水については、市内に7か所の飲料水兼用型耐震性貯水槽があり、7万人の市民が3日間使用できる量の水を確保しております。野口ふれあい交流センターでは、別府別府公園や海門寺公園に埋設している飲料水兼用型耐震性貯水槽からの給水を受けるものと考えます。

（具体的な意見や質問） 【野口ふれあい交流センター】

津波や地震による災害対策を区別して、防災対策に取り組んでほしい。

行政（執行部）と議会が一体となって取り組んでほしい。

（別府市の回答及び対応状況）<企画部>

大分県をはじめ別府市では、喫緊の課題として南海トラフ地震に重点を置きその対策に取り組んでいます。地震と津波については関連性が非常に強いので、防災対策を同時に考えることも多いですが、基本的にはいろいろな災害を想定して、対策に取り組んでいます。

今後とも行政と議会とが一体となって、防災対策に取り組んでいきたいと考えています。

（具体的な意見や質問） 【小坂公民館】

地域の公民館において、災害用備蓄品の配置は、計画されているのか。

（議会として考え方または回答）

地区公民館に配置される計画があることは、認識しています。

小坂公民館における配置は、行政（執行部）に確認いたします。

（別府市の回答及び対応状況）＜企画部＞

地区公民館には今後、備蓄物資の保管場所の確保次第では配置したいと考えています。

地域の公民館には一部山間部の孤立する可能性がある地域の公民館を除いて備蓄物資を配置する計画はありませんが、必要に応じて亀川小学校やべっぷアリーナから備蓄物資を持って行きたいと考えています。

（具体的な意見や質問） 【小坂公民館】

餅ヶ浜から亀川まで海岸線に線路が引かれており、津波等の災害時に対応できていない。

（別府市の回答及び対応状況）＜企画部＞

別府市では津波の浸水域を海拔5m～10mと想定しております。津波の可能性がある場合には、海拔10mライン以上の山側か津波避難ビルに避難して下さいと市民の皆さまにはお願いしています。

上人ヶ浜から亀川までの線路は浸水域に入るため浸水すると予測されます。

大地震が発生し津波が来るような場合においては、線路自体も破損して使用できなくなると予測されます。線路の移設や防波堤の設置に関しては、莫大な費用がかかる上、用地買収や漁業権の問題、景観の問題も絡むため、現状ではたいへん難しいと考えています。

（具体的な意見や質問） 【ふれあい広場・サザンクロス】

市における空き家対策が進んでいない。

火災や倒壊等の危険性が高い。

行政（執行部）に、再三の申し入れを行っているが進展がない。

（議会として考え方や回答）

調査の結果、市内に150件程度の空き家が存在しています。

みらい信用金庫 南支店の前の長屋が、大変危険な状況です。

今年度（平成26年度）において、空き家対策予算を計上する方向で、建設部と協議していましたが、国の議員立法により法律ができる予定となりました。

その法律は、空き家への立入り権を地方自治体に与えるものであると聞いています。

現時点においては、国の法律が確定（施行）した後に、市の条例等を整備することが好ましいと考えています。

しかし、一刻の猶予を争うような状況のものは、行政（執行部）に報告いたします。

（別府市の回答及び対応状況）<建設部>

空き家対策につきましては、所有者等が不明な建築物があるなど、行政指導の対象となる相手を見つけるのに時間を要する場合や困難を極める場合があります。

ご指摘の建築物については、市内部でも鋭意事務作業を進めています。景観や環境面で、大変ご迷惑をおかけしていますが、もう少しの猶予を頂きたいと考えます。なにとぞご理解をお願いいたします。

（具体的な意見や質問） 【ふれあい広場・サザンクロス】

今年度（平成26年度）の防災・災害対策はどのようなものか。

（議会として考え方や回答）

主なものは、消防の通信施設整備です。

また、消防車両の購入・小学校の耐震補強工事・備蓄品の整備です。

（別府市の回答及び対応状況）<企画部>

今年度は、沿岸部三か所の施設の屋上にサイレンとスピーカーからなる防災無線を設置する予定です。また、地域の防災力向上のため、引き続き防災士の養成を行いますが、特に今年度は、女性防災士の枠を設け募集を行っています。

また、沿岸部46自主防災会に対して、町ごとの地域津波避難行動計画書作成のため、町ごとに出向いてワークショップを開催します。

（具体的な意見や質問） 【ふれあい広場・サザンクロス】

朝見川の橋の耐震化はどうなっているのか。
現在の橋の高さでは、増水したときに対応できない。

（議会として考え方は回答）

国も今年度（平成26年度）は、多くの公共事業費を計上しています。
市も優先順位により、橋りょうの耐震化を行っています。
将来的には、耐震化が行われると認識しています。

過去の大災害（瓜生島の消滅や鶴見山の大噴火）によると、現在の堤防や栈橋の高さでは対応できないと認識しています。

東日本大震災の経験を経て、国も様々な防災対策を打ち出しています。

必要であれば、避難タワー等を建てることも可能と考えています。

高齢者や単身者の救護等を勘案して、地域の実状に沿った災害対策を考える必要があると認識しております。

（別府市の回答及び対応状況） <建設部>

別府市では平成23年度に、市内181橋の「橋梁長寿命化修繕計画」を策定し、橋梁の補修、補強工事を優先順位の高いものから順に実施しております。

朝見川には、市の管理する橋梁は27橋ありまして、平成25年度に祇園橋、今年度は中島橋の補修補強工事を予定しております。来年度以降も順次計画に基づき施工していきたいと考えております。

増水時の対策については橋梁だけでなく、接続道路や河川堤防等も含めた施設の検討が必要となりますが、住宅の密集した低敷地区域での対応策は、構造的に難しい面があります。

どのような対策が可能で有効となるか、今後関係各課とも相談しながら、対応策を考えたいと思います。

(具体的な意見や質問) 【ふれあい広場・サザンクロス】

空き家対策として、避難場所の整備案を議員から聞いた。
有意義な土地利用と考えている。

避難場所が、明確にわかる掲示板等を作ってほしい。
民間の施設も活用して、より多くの避難場所を確保してほしい。

(議会として考え方または回答)

国の都市整備資金等を活用すれば、整備可能と考えています。
行政の意欲と考え方次第と考えていますが、議会としてもこの問題には、継続して取り組んでまいります。

(別府市の回答及び対応状況) <企画部>

避難所のうち、特に小中学校等の収容避難所については、施設の入り口に避難所である旨の表示板を設置しております。

また、津波対策として海拔16m未満の電柱など約1250本に海拔表示板を設置して、避難場所がわかるように表示しています。

避難所については、民間施設も利用した避難所確保を検討していきたいと考えています。

(具体的な意見や質問) 【風呂本・御幸公民館】

防災マップについては、避難場所として大谷公園が指定されているが、再度見直すべきだ。

火山災害・土砂災害等には、適さないと考える。

防災対策において、火災対策が十分説明されていないと思う。

もっと、ホテルや旅館との連携を求めることを要望する。

(議会として考え方または回答)

防災マップは、地震・津波等のケースを主に策定しています。
このご意見は、行政(執行部)にお伝えします。

(別府市の回答及び対応状況) <企画部>

別府市防災シティマップは、災害ごとに避難できる避難所の一覧表を掲載しております。その中で、大谷公園は火山噴火時には使用できないこととなっております。土砂災害についてはマップの作成時使用出来るとなっていたため、修正もしくは正誤表を挟んで配布させていただきましたので、今一度ご確認をお願い致します。

ホテルや旅館との連携については、別府市ホテル旅館組合連合会と災害時の要配慮者や帰宅困難者、他市町村から受入れ要請された避難者への宿泊サービスを提供する災害協定を本年3月24日に締結しました。

7. その他

1) 市政等関連

(具体的な意見や質問) 【堀田公民館】

副市長の2人体制は、多いと思う。

1人でいいのではないか。

(議会として考え方や回答)

現在は、1人体制です。

(別府市の回答及び対応状況) <総務部>

今後市政の重要課題により2名体制となる場合も考えられますが、現在は1名体制としております。

(具体的な意見や質問) 【古市公民館】

人口の減少に伴い、水道料金の値上げを行っている自治体があると聞く。

人口減少に伴う、地方自治体の問題点を市民に積極的に知らせるべきだ。

(議会として考え方や回答)

今回の対話集会は、議会と市民の方の対話を通じて、議会活動を活性化させることを目的としています。

今後、人口減少に伴う自治体運営に対して、不安があることを行政(執行部)にお伝えします。

(別府市の回答及び対応状況) <企画部>

人口減少は全国的な問題となっており、将来において労働人口の減少、税収の減少、扶助費の増大、地域コミュニティーの衰退などが予想されます。

市としては、現在の住民サービスをなるべく低下させないように努めていきたいと考えていますが、少子高齢化による人口構成の変化など社会情勢に対応した行政運営が必要になります。行政運営について市民の理解が得られるよう、説明責任を果たすとともに、ご意見を十分伺っていきたくと思います。

(具体的な意見や質問) 【中須賀公民館】

今後、少子化や高齢化社会が加速する中で、民生費等が増加して財政が圧迫されると考えている。

今後、市の財政状況が厳しくなる中で、市民も選挙の時だけでなく、日常から行政や議会を監視する必要がある。

（具体的な意見や質問） 【中須賀公民館】

今後、少子化に伴う人口減少により、自治体が崩壊する危機感を持っている。

財政状況も危機的状況に陥ると考えている。

公共施設の維持管理についても、民間活力を積極的に活用して、抜本的に見直すべきだ。

財政状況が厳しい中で、職員の新規採用を行っているのはどういうことか。

（議会として考え方や回答）

人口減少は、避けて通れないのが現実です。

市税収入が減少するのに対して、福祉関連費は増加の一途をたどることは避けられません。

ゴミ収集の民間委託を勧めていく中で、清掃業務員の採用を行っていることは、公費の二重投資と考えます。

新規の採用は、約3億円の公金を投資することになると認識していただきたい。

（別府市の回答及び対応状況） <総務部>

平成24年3月に第2次別府市定員適正化計画を策定し、平成24年度～平成33年度にかけて職員数を13%削減（水道局除く）する目標を掲げ、職種毎の人員見直し、年齢の平準化を考慮し毎年度採用抑制を行い、職員数の減少を図っています。

ゴミ収集について、民間に委託した業務と直営で行っている業務は、異なる業務を行っております。

（具体的な意見や質問） 【中須賀公民館】

扇山ゴルフ場は、韓国の企業が経営していると聞く。

今回の附帯決議の中で、「経営改善」とあるが、どのような経営状況にあるのか。

別府市は、支援しなければならないのか。

（議会として考え方や回答）

市有地をゴルフ場として、企業に貸し付けています。

本来の貸付金額では、ゴルフ場の経営が成り立たないとの申し出により、減額して貸付を行うことの議決を行いました。

その条件として、減額を頼りにしない経営改善を行うこと。今回の減額が最後であることです。

この条件が履行されない場合は、経営権の移転も含めて考えなければならないといったものです。

市民の貴重な財産ですので、議会としても重く受け止めています。

（別府市の回答及び対応状況） <総務部>

株式会社 別府扇山ゴルフ場の過去3年間の経営状況は、平成23年、24年と東日本大震災の影響等で入場者が減少するとともに、客単価が低下し、経営が悪化しました。

平成25年は前年と比べて入場者、売上額が増加した結果、経常赤字が減少し、経営は改善傾向にあると考えています。

扇山ゴルフ場は市街地近郊にあるゴルフ場として価値は高く、観光面での寄与もあり、ゴルフ場利用税交付金や市税の納付、市内居住者の雇用の確保や経済活動を通じての経済波及効果があると考えております。

今回、平成26年4月から市有地の減額貸付を行うことは、扇山ゴルフ場の事業性や採算性等を客観的に検討したうえで、今後3年間に限り行うものであり、会社が自らの責任で抜本的な経営改善を行い、3年後には市に支援を求めない自立経営を行うことを前提にしています。

(具体的な意見や質問) 【小坂公民館】

振興センターの理事に、市の職員OBが配置されている。

議会としても、チェック機能を重視して、組織のためになる人事配置を行ってほしい。

(別府市の回答及び対応状況) <企画部>

別府市総合振興センターの役員は7名で、理事長、専務理事、理事(3名)、監事で構成されており、この内理事長と専務理事が市役所の退職者です。

また、理事には市議会議員も2名就任しています。

振興センターは昭和39年に別府市が100%出資して設立された第三セクターであり、収支状況については、議会に報告義務があります。

主な業務として、温泉給湯事業や市公の施設の指定管理者を行っており、市との連携が大変重要になります。

平成25年4月に一般財団法人化するなど、経営努力をしていますが、今後も振興センターの健全な経営、運営の推進に努めます。

(具体的な意見や質問) 【小坂公民館】

市役所の窓口において、仕事に詳しい職員が少なくなっていると思う。

課長も、質問に対する即答できない。

しっかりした、人材の育成を行ってほしい。

(別府市の回答及び対応状況) <総務部>

業務内容について、分かりやすく丁寧な説明ができるよう今後も指導してまいります。

(具体的な意見や質問) 【ふれあい広場・サザンクロス】

地方から大都市へ人口の流出が進んだ場合、20代から30代の人口が半分になる自治体が約半数におよぶと聞く。

自治体崩壊が懸念される。

少子化対策は、自治体存続の必須課題であり、議会としても強い認識をもってほしい。

(議会として考え方は回答)

南校区の高齢者率や単身者率は、非常に高いと認識しています。

出生率を高めることは、非常に難しい問題と捉えています。

専門的な機関の発表によると、人口の減少は食い止められないと報告されています。

しかし、南校区には「旧南小学校跡地」があり、定住の促進の可能性がある財産があります。

議会としても、市有財産利活用推進特別委員会を設置しました。

今後の遊休資産の利活用を含めて、早い段階で協議したいと考えています。

(別府市の回答及び対応状況) <福祉保健部>

少子化の問題は、個人の思想・価値観に関わる問題を含んでいる一方で、地方自治体の経済システムへの影響にも深く関わる問題であることを認識しております。

別府市では「べっぷ子ども次世代育成支援行動計画」を策定し、現在この計画に沿って少子化対策等のための様々な取り組みを推進しております。

2) 財政関連

(具体的な意見や質問) 【堀田公民館】

将来、別府市は赤字債権団体になるのではないかとの危機感をもっている。
今後の人口減少により、財政収支のバランスが成り立たなくなるのではないか。
市民と議会と行政が、今後のことを本気で考えなければならないのではないか。
危機感が伝わってこない。

(議会として考え方は回答)

別府市の経常収支比率は、低い方ではないと認識しています。
しかし、公債費比率を見ると県下では、非常に低い数値です。
支出を抑えることは必要なことと考えていますが、市民生活を圧迫するような経費の削減は、収支バランスを考えて極力避けなければなりません。
現時点において、すぐに赤字債権団体になるようなことは、議会としても考えておりません。
また、そのような状況にならないためにも、行政と議会が車の両輪となり、自治体運営を行う必要があると考えています。

(別府市の回答及び対応状況) <企画部>

平成19年6月の「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」制定により、従来の赤字再建団体の制度が改正され、赤字が一定額を超え財政状況が悪化すると「早期健全化団体」、さらに悪化し破たん状態となると、「財政再生団体」とされ、国の管理下での財政再生が義務付けられます。

こうした財政状況にならないように、毎年度、この法律に基づき、健全度を示す指標を議会に報告していますが、現状では、財政悪化の基準を大幅に下回っております。

しかしながら、今後の人口減少に伴い、税収の伸びを期待することが難しい中で、増え続ける社会保障関係費や少子高齢化対策、公共施設の老朽化対策などの経費を確保していかなければならないことから、中期的には収支不足が見込まれ、財政運営は厳しくなっていくことが予測されます。

このような将来の財政見通しについては、毎年11月に市のホームページに公表しています。

財政状況の悪化を避け、中長期的に安定した財政運営を行うためには、税収の動向に合わせた行政サービスの適正化、行政の役割の見直し、人口減少により利用減が見込まれる公共施設の再編など、人口減少・少子高齢化という社会構造の変化を見越して、適正規模の効率的な財政運営をしていかなければなりません。

こうした課題に対して、これまでも行財政改革による人件費等の縮減など財政運営の効率化に取り組んでいますが、今後も、財政状況を公表することにより議会及び市民と問題意識を共有しながら、社会構造の変化に対応した健全な財政運営に引き続き取り組んでいきたいと考えております。

（具体的な意見や質問） 【中須賀公民館】

財政のバランスシートは、自治体の経営指標になるものと考えている。
別府市では作っているのか。

（議会として考え方は回答）

収支を比較したバランスシートは、一部の自治体では導入されていますが、別府市では、決算カードとして公表しています。

ご指摘のバランスシートは、自治体の経営指標として、効果的とも聞いていますので、議会としても、行政（執行部）に問題定義するとともに、研究していきたいと考えています。

（別府市の回答及び対応状況）<企画部>

企業会計に準じたバランスシートは、市の通常の会計で把握しにくい資産・負債などや減価償却費などのコストを示すことにより、財政状況をより客観的に示すとともに、資産・債務の適のストック情報正管理など中・長期的な視点に立った健全な財政運営に資するものとして、現行の会計制度を補完するものです。

本市では、国の作成基準に沿って、平成22年度決算からバランスシートを含めた財務諸表を作成し、ホームページに公表しています。

来年には、国が地方自治体間の財務状況を比較しやすいように作成基準を見直すこととなっており、現在、作成に向け準備をしていますが、今後とも（現行の）官庁会計制度の決算とともに、企業会計に準じたバランスシートなどの財務諸表を公表し、財政状況をわかりやすく説明していきたいと思えます。

（具体的な意見や質問） 【小坂公民館】

別府市の財政状況における今後の見通しは怎么样了のか。

（議会として考え方または回答）

議会としても、厳しいものになると考えています。

行政（執行部）においても、人件費等の削減により、財政の健全化に取り組んでいます。

しかし、職員数の減少は、市民サービスの低下につながる原因にも成りかねますので、地域との共同等を考えながら、サービスの質の維持に努めることが大切と考えています。

（別府市の回答及び対応状況） <企画部>

これまで行財政改革により職員人件費を10年前と比較して約15億円削減するなど経費の節減に努めてきました。

また、国の政策転換で地方交付税が復元したこともあり、高齢者福祉や児童福祉などの扶助費が増え続けるなか、黒字を維持するとともに、突発的な災害の発生や市税の大幅な減収などに対応するため、財政調整用基金を約98億円積立てて、不測の事態に備えています。

毎年、法律に基づき、公表している財政の健全度を示す指標は、基準を大幅に下回り、現状は直ちに行政サービスに支障をきたすような財政状況ではありません。

しかしながら、人口減少や少子高齢化の進行により、市税の減収が見込まれる一方で、社会保障費の増加や全国的に問題となっている老朽化した公共施設の改修費や維持管理コストが増大し、財政需要が増加していきます。

こうした将来の財政見通しは、毎年11月、市のホームページに「財政収支の中期見通し」として公表していますが、中期的には収支の悪化から5年間で基金を70億円程度取り崩す見込みで、財政運営は厳しくなっていくと予測しています。

このような中で今後も行財政改革に取り組みながら、限られた財源の重点的かつ効率的な配分や経費の節減に努め、財政調整の基金を一定程度維持しながら、効率的かつ安定的な財政運営を行っていくとともに、予算・決算や中期の財政見通しなどをわかりやすく公表し、財政の状況を市民の皆さまにお知らせしていきたいと思ひます。

（具体的な意見や質問） 【小坂公民館】

入湯税の1割でも2割でも、別府市活性化のために再投資すべきだ。
入湯税の使い方をもっと明確にすべきだ。

（議会として考え方は回答）

入湯税を市民のみなさんに、還元することは、議論された経緯があります。
ご意見は、行政（執行部）にお伝えいたします。

（別府市の回答及び対応状況）<企画部>

入湯税は、法律でその用途が特定される目的税で、環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設、消防施設等の整備、観光の振興に使うこととされています。

本市では、これまでONSENツーリズムを推進するため観光振興や泉源の保護を中心に使ってきました。

平成26年度は、主に観光客誘致事業や泉源設備の保全のほか、消防防災無線デジタル化等消防施設の整備などに使うこととしています。

この用途については、毎年度、予算説明書で示し、議会において審議していただいています。これからも入湯税を財源とする施策の効果を検証し、より効果的な使い方を検討するとともに、その用途についてはわかりやすい方法で説明していきたいと思ます。

3) その他

(具体的な意見や質問) 【ふれあい広場・サザンクロス】

松原公園の遊具が使用禁止になっている。

使用禁止の張り紙がはがれており、子供が使用すると危険だ。

このような小さなことから、住民の安全対策に取り組んでほしい。

(議会として考え方または回答)

ご意見として、行政（執行部）にお伝えしてまいります。

(別府市の回答及び対応状況) <建設部>

公園の遊具等につきましては、点検等により不具合が発見された際、補修をおこなうまでの間、使用禁止にさせて頂く場合があります。

可能な限り速やかに補修をおこなうよう努めると共に、ご指摘のありました、使用禁止中の安全管理につきましても徹底してまいります。

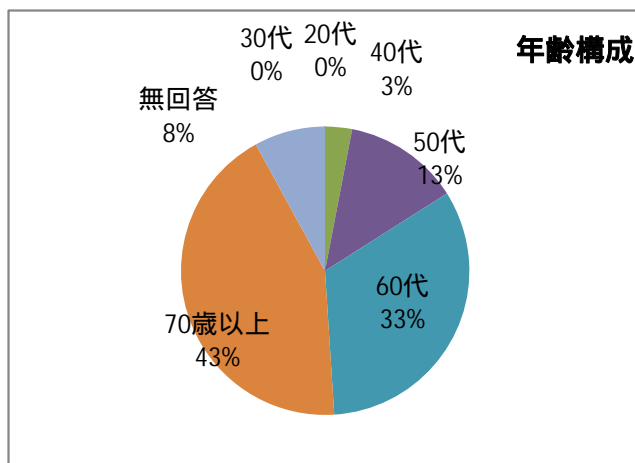
「市民と議会との対話集会」アンケート 集計結果

1. アンケート回答結果

①配布数	254 枚
②回答枚数	202 枚
③回答率(①/②)	80 %

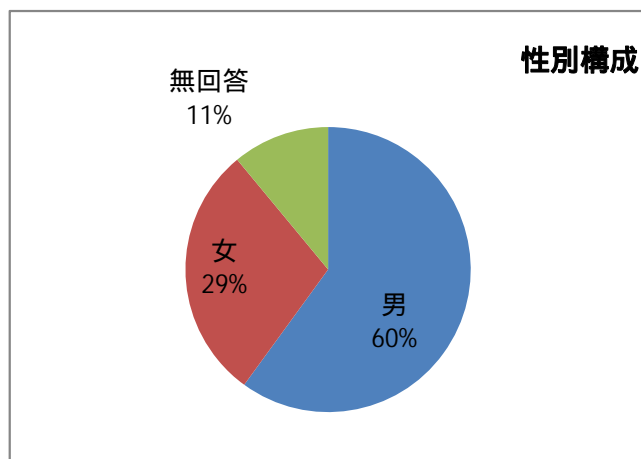
2. 年齢構成について

区 分	人数	割合
20代	1 人	0 %
30代	1 人	0 %
40代	7 人	3 %
50代	27 人	13 %
60代	66 人	33 %
70歳以上	84 人	43 %
無回答	16 人	8 %
合計	202 人	100 %



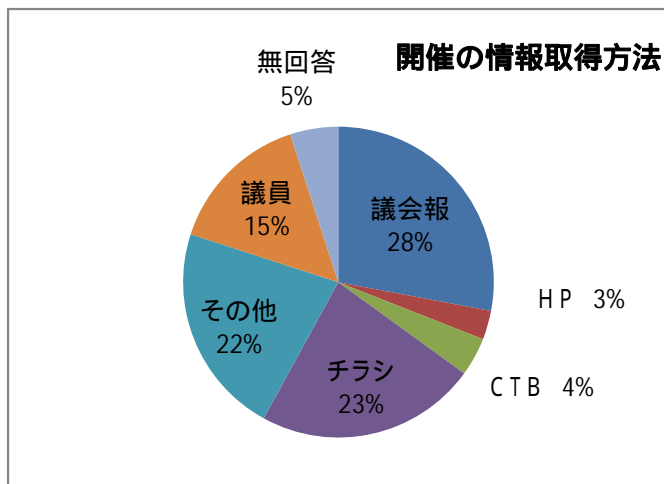
3. 性別構成について

区 分	人数	割合
男	122 人	60 %
女	58 人	29 %
無回答	22 人	11 %
合計	202 人	100 %



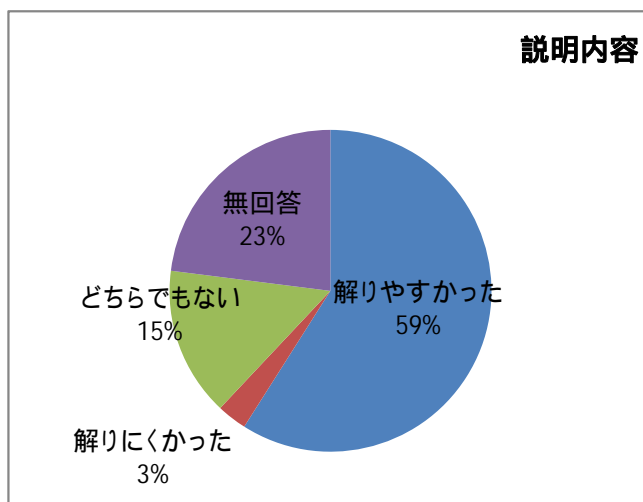
4. 開催の情報取得方法について

区 分	人数	割合
議会報	55 人	28 %
ホームページ	6 人	3 %
ケーブルテレビ	8 人	4 %
チラシ	46 人	23 %
その他	45 人	22 %
議員	31 人	15 %
無回答	11 人	5 %
合計	202 人	100 %



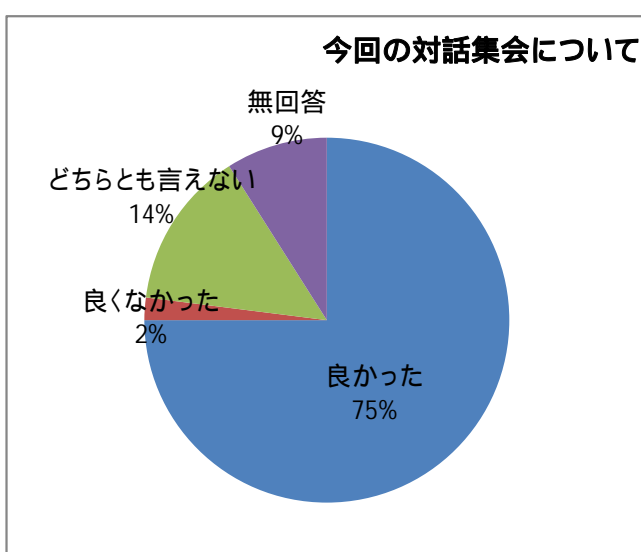
5. 説明内容について

区 分	人数	割合
解りやすかった	120 人	59 %
解りにくかった	6 人	3 %
どちらでもない	30 人	15 %
無回答	46 人	23 %
合計	202 人	100 %



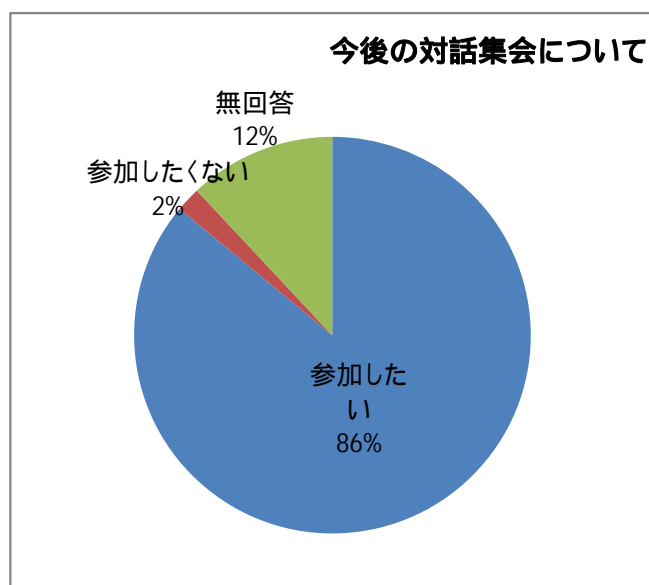
6. 今回の対話集会について

区 分	人数	割合
良かった	151 人	75 %
良くなかった	4 人	2 %
どちらとも言えない	29 人	14 %
無回答	18 人	9 %
合計	202 人	100 %



7. 今後の対話集会について

区 分	人数	割合
参加したい	172 人	86 %
参加したくない	5 人	2 %
無回答	25 人	12 %
合計	202 人	100 %



8 . 自由意見

1 . 対話集会について

- 1) 有意義な対話集会だった。
- 2) 意見を聞ける場面が多いことが、良かった。
- 3) この対話集会における意見を行政に反映してほしい。
- 4) 参加者や議員の様々な意見を聞いて良かった。
- 5) 3月議会の中での問題点が見えてこなかった。
- 6) 毎年実施してほしい。
- 7) 質疑の中で、個人的な要望があった。対話集会に馴染まないと感じた。
- 8) 別府市政全域についての提言等が聞きたかった。
- 9) テーマを絞って開催すれば、参加者が増えるのではないか。
- 10) もっと議論したかった。
- 11) 議員の説明が良く理解できた。また議員の熱意が感じられた。
- 12) 説明する議員により、分かり易さが異なっていた。
- 13) 参加している市民の勉強熱心なことに驚いた。
- 14) 多くの議員に発言をしてもらいたい。（1人の議員ではなく）
- 15) 多岐にわたる質問があり、市政への関心が高まった。
- 16) 市民の意見を聞く時間が多かったことが良かった。
- 17) 去年（平成25年）に比べて、内容が濃かった。
- 18) 資料の事前配布等の工夫をしてほしい。
- 19) 政策等に対して、相互（市民・議会・行政）に勉強する必要性を痛感した。
- 20) 要望事項に対して、明確な回答がほしい。
- 21) 議員がよく勉強していることが分かった。

- 22) 行政（執行部）の職員が何名か出席すれば、より充実したものになるのではないか。
- 23) いつも説明理由が、「予算がありません。」との一言のように感じる。
- 24) 議員の氏名が分かるようにしてほしい。
- 25) 議員を身近に感じた。
- 26) 住民の地域を思う心がよく分かった。
- 27) 教育を通じた「人を育てる」大切さを深く感じた。
- 28) 身近な問題を話しあえて良かった。
- 29) 具体的な説明が良かった。

2 . 議会(議員)について

- 1) 議員の質を高めることが大切
- 2) 議会として、行政への監視機能の充実と政策形成機能の強化を図ってほしい。

3 . その他

- 1) 国民健康保険税と介護保険税を引き下げてほしい。
- 2) 第3次産業（サービス業）に頼らず、第1次・2次産業の振興を図ってほしい。
- 3) 湯けむり展望台に、トイレを設置してほしい。
- 4) 行政の健全経営が必要だと感じる。行財政改革を優先して取り組むべきだ。
- 5) 扇山地区に、市営温泉がほしい。
- 6) 温泉熱を利用した熱帯植物園を観光港の近くに整備してはどうか。
- 7) 高齢者問題は深刻であり、他の自治体の優良事例を積極的に取り入れてほしい。
- 8) 旧南小学校跡地に、若者が定着できるようにしてほしい。（住宅地等）
地域の活性化は、若者の定住が一番と考える。
- 9) 福祉電話を復活してほしい。

- 10) 別府市民が共に楽しく暮らせるようにしてほしい。
- 11) 市の職員の動きが悪い。市民の信頼を損なわないようにしてください。
- 12) 別府の情報を積極的に発信してほしい。
- 13) 野良猫の去勢や不妊手術に対して、補助金があれば、不幸な殺処分は減少すると思う。